株式会社ミガロ.

RAD事業部 技術支援課

[Valence] Valence App Builder RPG連携テクニック

1. はじめに

- 2. Valence App Builder アプリ開発方法
- 3. Valence App Builder RPG 連携の基本
- 4. Valence RPG ToolKit 活用テクニック
- 5. さいごに



1973 年 8 月 16 日生まれ 1996 年 3 月 三重大学 工学部卒業 1999 年 10 月 株式会社ミガロ. 入社 1999年10月システム事業部配属 2013年4月 RAD 事業部配属

現在の仕事内容 Delphi/400 を中心としたテクニカ ルサポート対応や製品セミナーの講 師などを担当している。

1. はじめに

Valence は、IBM i を Web 環境で活 用するモダナイゼーション開発・運用 ツールである。Valence には、次のよう な特長がある。

- ・ローコード開発ツールによりアプリの 高速開発が可能
- ・ビジュアルな運用管理ツール群を搭載
- ・PCのWebブラウザ、モバイル両方 に対応

Valence の特長の1つであるローコー ド開発ツールが、「Valence App Builder」 である。Valence App Builder を使用 すれば、基幹システム開発に必要な入力・ 更新・照会アプリケーションが、ほぼノ ンコーディングで作成できる。

また、その作成方法はウィザードを使 用したシンプルな手法なので、操作に慣 れると、簡単なものであれば、ものの数 分でアプリケーションを作成することが 可能である。

Valence App Builder はノンコーディ ングで簡単にアプリケーションを開発で きるが、複雑な業務ロジックを伴うアプ リケーションを開発する場合には、RPG を組み合わせることも可能だ。

本稿では、Valence App Builder と RPG とを組み合わせて連携するための テクニックについて紹介する。

2. Valence App Builderアプリ開発 方法

はじめに、Valence App Builderの アプリケーション開発方法を確認してお こう。Valence App Builder では、次 の3つのステップでアプリケーションを 作成する。

- 1 データソースの作成
- 2 ウィジェットの作成
- 3 アプリケーションの作成

「1 データソースの作成」では、ア

プリケーションで使用するデータ元とな る IBM i上のファイルを選択し、「2 ウィジェットの作成」では、データソー スをもとに、表 (グリッド) やグラフ等 のデータを表現するための部品を定義す る。そして、「3 アプリケーションの作 成」では、1つあるいは複数のウィジェッ トを画面上に配置し、アクション(動作) を定義することで、1つのアプリケー ションとして完成させるのである。【図1】

実際の開発手順は、次のとおりだ。ま ず、データソースを作成する。データソー スの作成は、IBM iの QUERY ユーティ リティで、QUERY の定義を作成するの と似ている。データソース作成ウィザー ドを使用して、アプリケーションが使用 する IBM i上のファイルとカラム (フィールド)を選択・保存すればよい。

ウィザードではほかにも複数ファイ ルを使用した時の結合条件や、データの 絞り込み条件、並び順なども指定できる。 【図2】

次に、保存したデータソースをもとに ウィジェットを作成する。ウィジェット



は、抽出したデータをさまざまな見せ方 で表示するための部品である。2019 年 8 月現在の最新版である Valence5.2 に は、表(グリッド)やグラフ、地図など 全部で12 種類のウィジェットが用意さ れている。【図 3】

選択したウィジェットに応じた設定 画面が用意されているので、データソー ス上のカラム (フィールド)を関連付け る。たとえばグリッドであれば、表示さ せる列の指定や書式の設定を行えばよ い。また、グリッドやグラフのウィジェッ トでは、データソース上のレコードを絞 り込むためのフィルタ設定が可能であ る。これにより、実行時にユーザーによ る条件指定が行える。【図 4】

必要なウィジェットが揃ったら、1つ あるいは複数のウィジェットを組み合わ せてアプリケーションを作成する。複数 のウィジェットを1つのワークスペース に配置した単一画面のアプリケーション や、複数のセクションを定義してワーク スペースを増やすことで、複数画面をも つアプリケーションを作成できる。【図5】

ワークスペース上に複数のウィ ジェットを配置した場合や、複数のアプ リケーションセクションを定義した場合 には、ユーザーの操作に対するアクショ ンを設定できる。たとえば、グリッドに 表示された受注一覧の行をクリックした 時に、選択した受注 NO でデータの絞 り込み(フィルタ)を行い、結果を詳細 フォームに表示するといったアクション が設定できる。【図 6】

以上が、Valence App Builder でア プリケーションを開発する手順である。 基本的な部分はウィザードを使った簡単 な定義で済み、一切のコーディングを行 わずにアプリケーションが作成できる。

3. Valence App BuilderとRPG 連携の基本

Valence App Builder では、編集グ リッド (Edit Grid) やフォーム (Form) の入力欄に関して、カラムの属性に合わ せた入力可能文字の制御や項目の必須 チェックなどを、ウィザードで設定できる。 しかし、たとえば複数項目間の相関エ ラーチェック等はウィザードでは設定で きない。また、データソース上のカラム (フィールド) 以外のファイルやフィー ルドを内部的に更新することはできな い。こうした Valence App Builder の 設定だけでは実現できない処理は、RPG ロジックを追加することで対応する。

Valence App Builder では、下記の タイミングから RPG プログラムを呼び 出して実行できる。

- グリッドの行やグラフをクリック、 あるいはウィジェットやアプリケー ションセクションに追加したボタン をクリックした時
- 2 編集グリッド (Edit Grid) でレコー ドの追加/更新/削除を行う時
- 3 グリッド等でユーザーがフィルタ(絞 り込み)を行う時

1については、アプリケーションの動 作内容(アクション)設定画面で RPG プログラム呼び出しのアクションを追加 できる(なお、ウィジェットやアプリケー ションセクション上にボタンを追加する のも、この動作内容設定画面で行う)。 【図7】

2と3は、それぞれウィジェットの設 定画面で呼び出したい RPG プログラム の ID を追加すればよい。【図 8】【図 9】

Valence App Builder では、実行す る RPG プログラムをテンプレートプロ グラムからコピーして作成する。テンプ レートプログラムは、Valence ライブラ リ上にある QRPGLESRC の中に含まれ ている。【図 10】

- クリック:VALENCE52/ QRPGLESRC (EXNABBTN)
 Edit Grid:VALENCE52/ QRPGLESRC (EXNABVAL)
- 3 フィルタ:VALENCE52/ QRPGLESRC(EXNABFLT)

1のクリック時に実行されるプログラ ム (EXNABBTN) のテンプレートプ ログラムは、【ソース 1】である。テン プレートプログラムは、フリーフォーム RPG で記述されている。

【1-①】が実行するプログラムの定義 (プロトタイプPRおよびプロシー ジャーインターフェースPI)となって おり、アプリケーションを作成する際に は、ここにそれぞれプログラムIDを指 定する。

【1-②】がプログラムのメイン処理で、 この中から Process サブプロシージャー を 呼び出している。呼び出された Process サブプロシージャー【1-③】の 中に、アプリケーションに必要なロジッ クを記述すればよい。

具体例を2つ紹介する。1つ目は、商 品マスタメンテナンスの登録画面であ る。【図 11】

フォームウィジェットを使用した簡 単なアプリケーションで、商品 CD、商 品名、単価を入力して、登録ボタンをク リックすると、商品マスタに新規レコー ドを追加する。この登録ボタンをクリッ クした時に呼び出す RPG プログラム (TEC010) が、【ソース 2】である。

【2-①】のプログラム定義では、プロ グラム ID の"TEC010"を指定している。 そして Process サブプロシージャーの 中に必要な処理を記述している。【2-②】 は、Process サブプロシージャーの中で 使用する変数の定義である。【2-③】は、 フォームウィジェット上の入力項目の値 を取得して、【2-②】で定義した変数に 代入する処理である。

GetFormChar(文字)/GetFormNum (数値)は、ウィジェットに定義された カラム(フィールド)の値を取得するた めに用意された Valence の API である。

【2-④】がこのプログラムの主処理で、 この中でキーフィールドの重複チェック および新規レコードの登録を行ってい る。その中にある【2-⑤】【2-⑥】が、 処理結果を Valence アプリケーション 側に返却する処理である。vvOut_ toJsonPair という Valence の API によ り、処理結果が返却される。

この命令のパラメータにある "success:true (false)"は、処理結果の 正常/エラーを表し、"msg"はエラー 等のポップアップメッセージを、"info" は画面下部に表示されるお知らせメッ セージを表す。

このプログラムを見るとわかるよう に、Valence App Builder に お け る RPG にはフリーフォーム RPG を使用す るのだが、Valence の API を使用する 部分のみ、フリー形式 (/free ~ /endfree) で記述しており、その他のロジッ ク部分は、従来どおりの固定長形式で記 述している。

9-9-9-2 BERDER		۲	945291947 E80e			0	R.世							
	2-161-	・タルポップアップウィン	F0 #-X-64	24	しが満み戸中ス)	ote 24	1.9984							
0	26-65		3117	100	3271.0									
82	F2_T_TANTO_KN	経営専力ナ			-	0.0	10+79							
-	F1_R_TRHR_CD	助生用につ	1			0.0								
7149	F1_R_TRHKL_NM	8586 86800	80			(12)		ウイ	ジェット	の中に終	われる	4冬/牛#	罰が追加さ	th2
00 112	FLRYUBN	6.267	· 10	Volence %2	-			21.	/1/1			77611		14 6 6
SAAT	FI_R_AUSYO	-		valenc	e	192.460.23	1054/gortal/#10	203000130	Nitra App Build	0		er û	00000 Q	19 1
				・ウィシュ	७ ।-कहोस								ł	٢
				(v) <u>7-9</u>	y− x	-	-	• 9+525+	9-17		0 82	1	_	-
				_	1				-				5	- 4
			-	794	85%CD	9116	-	ERNE	No. of Lot of Lo	10	1	1	K-579	- 13 - 14
				¢ 82	1 101721	MGARO	1002	44 (21)	558-0017	101000000000000	96	6631-6607	-9	
				1	1 101733	EM JAPAN	1001	4 314	103-0016	東京都今央2011城場48 	19-21 03	4447-1112	🗑 (1860-974-24)	
アプリケー	ションの1	作成							- 1973,0004			4173 453	-	
アプリケー	ションの1	作成										AT 45	- 0	×
アプリケー /図 Vidence 5.2 ←→ C ⊚	ションの1	作成							113,004	하 <u>수</u>			- 0	×
アプリケー /☆ valence i valence	ションの1	作成				Vites App Du	~ ()	113.004	↔ ☆			- ¤	× 1
アプリケー /型 valence 52 そうで (の i valence く 電気 18M (ションの1 × (Power7) D	作成 ^{ashboard*}				Veo App Bu)		 4 			- ¤	× 11 21
アプリケー /型 Vience 52 ← → ⊂ © i valence ← Ⅲ第 10001 82	ションの1 × \ (Power?) D & #**	作成 ashboara*	Dashborad			Viteo App Du	~ ()		↔ ☆			- ¤	× 1 20
アプリケー /型 Volence 52 そ → C ② i valence く 編集 18M (設ま 777/バーの91)58 8M1 Destbored	ションの1 × \ (Rower7) D & Roy	作成 ashboard [*] IBM I D	Dashborad	5 71	2.70使用電	Veo App Du	асы (1-17-14)			◆ ☆ CPU使用率			- ¤	× 1 24
アプリケー /型 Tolever 5.2 ← → C ② i valence ← 単生 18M 8 取ま 777/K-021/55 図NI Destbored 〇 単星270-562円37	ションの(×) (Power7) D (名) Infr 5	作成 asshboard" IBM 10	Dashborad	5 71	27使用率	Vito Apo Du E(IBM i)	acer (1-ザー単)			◆ ☆ CPU使用率 100 ↓			- 0 Q ()	× 1 90
アプリケー /型 Valence 5.2 ← → C ① i valence ← 部第 18M (数章 775%-05(1-5 80(10extbored 〇 第第270-5428年7 77597-550-55555	ションの1 × \() ((Power?) D (名 まか?)	作成 ashboard [*] BM IC 16; 20	Dashborad 23:55 U使用率	5 71	(2) **	Veo Apo Du E(IBM i)	ober (1ーザー単り		TOWN	◆ ☆ CPU使用率			- 0 Q ()	1 1 0 10
アプリケー 「① Yokewer 5.2 ← → C ② i valence ← 調査 1000 1 設定 779/6-029(55 8001 Deatboord 〇 由田ス20-542日間1 779/7-5432年2743 ・ メイン	ションのイ × () (Power?) D (名) itor	作成 asshboard* IBM I [16: 20 8	Dashborad 23:55 U使用率 65%	5 71	②) スク使用率 YAGNU GSYS	Vito App Du E(IBM 12 KEDA	ани (1-17-1#1		TOWN	◆ ☆ CPU使用率 100			- 0 Q	× 1 20
アプリケー /型 Vience 52 そ → C ① i valence く 調査 18M (認定 779//-09/1-5 80// Des/bord 〇 曲王20-5(2) 第1 779/7-59/93/ ・ メイン	ションの1 ×\ (Power7) D (名 Bith た	作成 asshboard BM I C 16: 2 2 8	Dashborad 23:55 018:09:05 U使用率 65%	5 71	○) スク使用章 YAGNU GSYS SSUG	Noo Aqo Du E(IBM iJ	он (1-17-#1		TOWN	← 全 CPU使用率				× ::
アプリケー /型 Vience 52 ← → C ② i valence ← 副主 18M (設定 775/6-02168 図MI Destboord 〇 由王270-62877 7757-53252929 ・ 512	ションの1 × () (Power7) D (名 Roy	作成 ashboard [*] IBM IC 16: 21 21 21 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31	Dashborad 23:55 U使用率 65% 助ジョブ数	5 77 MINU V204	日 2 2 2 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	Vites App Du E(IBM i 1)	1-17-111		TOWN COFR HER LADA ASAKA SYS	← ☆ CPU使用率			- 0 Q	
アプリケー /① Viewer 52 ← → C ② i volence ← 単生 19M 8 取定 779/6-02168 図MI Destbored 〇 単正ス70-628年7 7797-939年9939 ・ メイク	ションのイ × () (Power?) D (名) Mor	作成 asshboard* 16: 16: 20 31 32 32 33 34 34 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35	Dashborad 23:55 U使用率 65% 助ジョブ数 325	5 77 MINJ YSA	② , 2.20使用率 35/5 54/6 04-0	Vitro App Bu E(IBM 12			TOWN COFR HER HADA ASAKA SYS INUMA	◆ ☆ CPU使用率 100 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00				
アプリケー (1) Volence 52 そ → C (0) i valence そ 第二 18M (認定 779//-09/1-5 80// Des/bond C) 第三スワローがを新闻す 779/7-59/99/99 ・ メイン	ションの1 × \ (Power7) D 名 Itor る	作成 asshboard BM I C 16: 2 CP 8. 活動	Dashborad 23:55 018:09:05 U使用率 65% 助ジョブ数 325	5 71 MIYY YSA	スク使用率 YAGNU GSYS SAUA OTHER	Vitro App Du E(IBM i 1	он (1-17-#1		TOWN COFR HER HAR ASAKA SYS NUMA EDA SUJJ	◆ ☆ CPU使用率 100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Parti at	AT 45	- 0 Q g g g g g g g g g g g g g g g g g g	
アプリケー 「① Vience 52 ← → C ② i valence ← 第二 18M (取定 775/6-02168 昭和 Destbored 〇 重正720-528377 7757-532527432 ・ 542	ションの1 × (Cower7) D ミ Row	作成 asshboard [*] BM I C 16: 20 5 7 7 7 7 7 7 7	Dashborad 23:55 U使用率 65% 助ジョブ数 325	5 71 MIYU YSA	日 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3				TOWN COFR HER IADA IADA IADA IADA IADA IADA IADA IAD	CPU使用率 100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	р	ат. со 9 до 9 до 9 до 9 до 1 27-92 03 Голн 01 Тими	- 0 Q g g g g g g g g g g g g g g g g g g	× 1 25
アプリケー (1) Yolence 5.2	ションの1 × \ ! (Power7) D ミ itor	作成 asshboard 16: 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	Dashborad 23:55 0180905 U使用率 65% 助ジョブ数 325 325	5 71 NIV YSA	○) スク使用章 YAGNU GSYS SALA OTHER CA OTHER CA CA CA CA CA CA CA CA CA CA	Vitor App Du E(IBM 12 KEDA MA			TOWN ICOFR INER IADA ISDA SYS INUMA SUJI IMOTO IASHITA	・ 全 CPU使用率 100	р 	9 J. 9 J. 1 9 J. 9 J. 1 9 J. 9 J. 1 9 J. 1 1 23-92 1	- 0 Q g g g g g g g g g g g g g g g g g g	· · · ·

つまりテンプレートプログラムの仕 組み(構成)と Valence の API の使用 方法さえマスタすれば、これまでどおり の RPG スキルをそのまま活用して開発 できる。

なお、作成した RPG ソースは通常ど おりにコンパイルしてオブジェクトを生 成すればよいが、コンパイル時に RPG プリプロセッサ・オプションを"*LVL2" に変更する点に注意してほしい。【図 12】

2つ目は、編集グリッド(Edit Grid) を使用したユーザーマスタメンテナンス 画面である。【図 13】

このアプリケーションでは、入力画面 上の連絡区分の値により、異なる必須項 目エラーチェックを行う。レコード新規 追加/更新/削除のタイミングで呼び出 す RPG プログラム (TEC020) が、【ソー ス 3-1】 【ソース 3-2】 である。このプロ グラムは、テンプレートプログラム EXNABVAL をコピーして作成したも のである。

【3-①】のプログラム定義では、プロ グラム ID の"TEC020"を指定している。 【3-②】がプログラムのメイン処理となっ ている。パラメータ inMode は、Edit Grid の実行状態を表しており、レコー ドの新規追加時は "ADD"、編集時は "EDIT"、削除時は "DELETE" がセッ トされるようになっている。

そして実行状態に応じて、新規追加時 であれば ProcesssAdd サブプロシー ジャーが、編集時であれば ProcessEdit サブプロシージャーが、削除時であれば ProcessDelete サブプロシージャーが呼 び出されるので、それぞれに必要なアプ リケーションロジックを各サブプロシー ジャーに記述すればよい。

【3-③】がこの ProcesssAdd サブプ ロシージャーの主処理で、連絡区分の値 に応じたエラーチェック処理を実行して いる。その中にある【3-④】【3-⑤】が Valence の API を使用した部分でフ リー形式である(【3-④】【3-⑤】以外 の箇所は、固定長形式で記述している)。

【3-④】が、Edit Grid 上の編集画面 で更新された項目の値を取得して変数に 代入する処理である。値の取得には、 GetValueを使用する。これは、パラメー タに指定したファイル、フィールドの値 を取得する Valence の API である。【3⑤】に記述された SendError は、データの更新処理を中断し、エラーメッセージを出力する API である。

今回は2つの具体例をもとに、Valence App Builder から RPG プログラムを連 携する方法を紹介した。

本章の最後に、Valence App Builder の各 RPG テンプレートプログラムから 使用できる API 一覧を紹介する。【図 14】

なお各 APIの詳細は、Valence Portal にある「Valence API ドキュメント」 メニューに説明とサンプルが記載されて いるので、確認してほしい。

4. Valence RPG ToolKit活用 テクニック

前章では、Valence App Builder から RPG プログラムを呼び出す方法を説明したが、他にも Valence には、RPG を活用して機能拡張を行う仕組みが用意されている。それが、RPG ToolKit である。ここでは RPG ToolKit の活用例として、ファイルのダウンロード機能、メール送信機能の実装を紹介する。

まず、ファイルのダウンロード実装例 を紹介する。ファイルのダウンロードと いっても大きく分けて、「1 あらかじめ 保存しているファイルをダウンロードす る」「2 動的にファイルを生成してダウ ンロードする」の2つが考えられる。今 回は両方の手法を紹介する。

1の保存ファイルダウンロードについ て、具体例として商品カタログ PDF の ダウンロード機能を紹介する。【図 15】

フォームウィジェット上にある [カタ ログダウンロード] ボタンをクリックす ると、IFS 上に保存された選択商品 CD に関するカタログファイル ([商品 CD].pdf) をダウンロードする。この ボタンをクリックした時に実行される RPG プログラム (TEC030) が、【ソー ス4】である。

【4.①】が、IFS上に保存された PDF ファイルの保管先パスを取得するロジッ クである。vvUtility_getValenceSetting は、Valenceの設定情報を取得する API で、パ ラ メ - タ に "ROOT_ PATH"を指定することで、IFS上の Valence ルートフォルダを取得できる。 今回は取得したルートフォルダの配下に ある "resources/pdfs" の中に、PDF ファ イルがあらかじめ保存されている想定で ある。

【4 ②】では、対象となる商品 CD の PDF ファイルが存在するかどうかを判 定している。vvIfs_pathExists は、パ ラメータに指定したファイルが存在する かどうかを確認するための API で、ファ イルが存在する場合は "*ON"、存在し ない場合は "*OFF" が返却される。今 回はファイルが存在しない場合、エラー メッセージを Valence に渡している。

【4-③】が、PDFファイルを Valence 側に受け渡す処理である。vvout 構造体 は出力するファイルを指定するもので、 download フィールドに"1"をセット すると、クライアントへファイルを受け 渡すモードとなる。そして file フィール ドにダウンロードしたいファイルをセッ トし、vvOut_file という API を実行す ると、ファイルが Valence 側へ渡される。

なおファイルのダウンロード機能を 実装する場合は、Valence App Builder の RPG プログラム呼び出し設定画面に て、[ファイル返却時の処理] に"ダウ ンロード"を指定する。【図 16】

次に、2の動的に作成したファイルダ ウンロードについて、具体例として担当 者別受注一覧 Excel のダウンロード機 能を紹介する。【図 17】

フォームウィジェット上にある [受注 ダウンロード]ボタンをクリックすると、 IBM i上の受注ファイル(F_JUCHU_H) から、選択した担当者 CD の受注データ を取得し、その結果をもとに動的に作成 した Excel ファイルをダウンロードす る。ボタンをクリックした時に実行され る RPG プログラム (TEC040) が、【ソー ス5】である。

【5-①】が、受注ファイルを取得する ためのデータ抽出用 SQL 文である。 フォーム上の担当者 CD を取得し、その 値を使った SQL 文字列を作成している。 【5-②】が Excel ファイルのダウンロー ド処理である。vvOut_execSqlToSS は、 SQL で取得した結果をもとに Excel ファイルを出力する API である。

なお今回の方法では、SQL をもとに Excel ファイルを作成しているが、デー タ構造体 (DS) をもとに Excel ファイ

Valence 5.2 ×	+			- 0 ×		
← → C ① ④ 保護されてい	ない通信 192.168.0.21:7052/portal/#156	565225050613166 o v 🛠		(i) 🔚 🔘 E		
l valence	Nito A	App Builder 🛛 🙆		Q 55		
← 動作內容				0		
🕣 👻 Application				A		
	シンメイン					
1 ・ ト 行クリック	3アクション	Г				
	非表示 受注一覧ウィジ 表示 ポタン ⁻	マント・受注一覧	グリッド(表) 次のアクションを 1.ウィジェット	上の行をクリックした 注実行する。 ・の表示/非表示の	こときに)切替	
€ • 7+1J9	受注重绿明细力	ロイジェット・受注	(画面遷和	多) L⊐ ドの然わいココ		
₩ • 7+N9	受注置語ヘック	ウィジェット・受	(2. 11/09 (<i>′</i>	
·		10-11-				
i ・ た クリック時	1 アクション					
クリック時のRPG	手び出し	Ann Ruilder		0 57		
: valence	lie Nitro	App Builder 🔞		Q 23		
← 動作内容				0		
	with the second					
* • succe	ボタン ^ー ss=false いいえ アクシ	=> 「呼び	「出しを行うRPGプログ	J-LO		
: • ● succe • アプリケーションセクショ	ポタン ^ー iss=false いいえアクシ シッサブ RPGプログラムの の	_{ヨン} 呼び 呼び出し プロ!	「出しを行うRPGプロク グラムIDを指定する	ブラムの		
: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ボタン= xx サブ xx サブ アブリケーションセクションサ	■> 呼び出し 「ブン回 <u>受は</u> 登録ヘッダウィラ	「出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する			
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ボタン= rss=false いいえアクシ マブット - 受注 アブッケーションセクション・サ ・ プログラム ア	aン 呼び出し ゲンコン ジン副 気は登録ヘッダウイタ マクション ファ	「出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する マエット・東注意録ヘッダク〉 間 報 マイル返却時の処理	プラムの		
: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ボタン ⁻ ss=false 3ンサブ 7ェット・受注 アブリケーションセクション・サ 「 <u>TC</u> グラム <u>IECO10</u> ア	aン 呼び出し 「「ひ」 「ひ」 「ひ」 「ひ」 「ひ」 「ひ」 「ひ」 「ひ	[©] 出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する ^{pzyト・要注意録へyダメ} 「 [−] ^{イル返却時の処理} ▼ 】	プラムの	•	
:	ボタン- rss=false レルえアクション アクシークラムの アプリケーションセクション サ ・プログラム アプリケーションセクション サ	aン 呼び出し ワン 回 Stitest ヘッダウイS マクション ファ オブション [ば出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する マェット・東注戦時へッタ > 間保防 マイル返却時の処理 マイル マープ	ブラムの → 、 クリック時 ログラム東行航の処理 年ヤンイ	् र रा/- क्रिस	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ボタン ⁻ sss=false 3ンサブ 7ェット・受注 アブリケーションセクション・サ ・ ブログラム 「 エECO10 アクションが	■> 呼び 呼び出し 「す > 回 受注意様へッタウィジ マクション ファ オブション ファ オブション (メニュー)をク	⁶ 出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する ⁹ ² ⁴ ⁷ ⁴ ¹ ⁴	プラムの 、 かしょう時 ログラム実行前の処理 キャンイ ます。		
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ボタン ⁻ sss=false はいえ アグシ コンサブ アブリケーションセクションサ ・ブログラム 下 「ククラコム ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	aン 呼び出し ワン 回 支注登録ヘッタウイタ マクション ファ オプション [ありません。[メニュー]をク	「出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する ッエット・要注意#ヘッタン 日常 マイル返却時の処理 ▼ [マ]	プラムの つグラム東行前の処理 ます。	र ग्र	
	ボタン- iss=false 3ンサブ アエット・受注 アブリケーションセクション・サ ・ アブリケーションセクション・サ ・ アクションが ・ ・ アクションが ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	■ン 呼び出し 「「」、 「「」、 「「」、 「」、 「」、 「」、 「」、		プラムの 、 クリック時 つグラム実行前の処理 キャンイ ます。	्र १८- १९२४	
	ボタン- ess=false 3ンサブ アエット - 受注 アブリケーションセクション・サ ・プログラム アログラム ア 「この10 アクションが よの明報 いいえ アクシ	aン 呼び出し 呼び出し アフト 回 安注登録へッタウィ5 マクション オブション ありません。[メニュー]をク ヨン	第出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する >>」、「「「「「」」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」	プラムの つ/フム実行前の処理 年ヤン1 ます。		
	ボタン- sss=false シンサブ アエット・受注 アブリケーションセクション・サ ・ アブリケーションセクション・サ ・ アブリケーションセクション・サ ・ アブリケーションセクション・サ ・ アクションが にの19 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	aン 呼び出し 「「♪ 回 StitES ヘッダウイタ 「クション ファ オブション 「 みりません。」メニュー)をク ヨン	『出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する マェット・東注電録ヘッタタ〉 開発 ・イル返却時の処理 ▼]	プラムの → > > > > > > > > > > > > > > > > > > >	UL RA	
	ボタンニ ess=false コンサブ アコット - 受打 アブリケーションセクション・サ ・プログラム アビット 王EC010 アクションセクション・サ ・プログラム アクションセクション・サ ・ アクションセクション・サ ・ アクションセクション・サ ・ アクションセクション・サ ・ アクションセクション・サ ・ アクションセクション・サ アクション・ アクション・ アクション・ アクション・ アクション	aン 呼び出し 呼び出し ガン 回 9注着線ヘッダウイS クウション ファ オブション ありません。 (メニュー)をク ヨン	[●] 出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する [●]	ブラムの 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		
	xxy>- sss=false 22.97 71.95-受任 77.95-受任 77.95-207ラム 77.95-207ラム 77.95-207ラム 77.95-207ラム 77.95-207ラム 77.95-207	■ン 呼び出し 「す > 回 StitE# ヘッダウイタ つうション ファ オブション フ みりません。 [メニュ] タク ヨン	ド出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する マェット・東注電録ヘッダメ 日前 ペイル返却時の処理 マー の の 、	プラムの 、 クリック時 「ログラム実行前の処理 ます。	elle - REF	
	スタン ⁻ sss=false コンサブ PI サト-受日 アブリケーションセクション・サ 「ブログラム 「ごログラム 「ごログラム ア アクションが ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	aン 呼び出し 「「ひ」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「	※出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する >>□ >>□ >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	プラムの 、 、 、 、 クリック時 「ログラム東行航の処理 年ヤンイ ます。		
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	xxタンー xx xx xx xx xx xx xx xx xx x	aン 呼び 呼び出し r7 > 回 安注登録 ~> 99 9 4 5 70 5 3 2 77 オブション 77 オブション 7 カリません。 (メニュー)をク ヨン	К出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する マエット・東北電像へッタク〉 開催の ペル返却時の処理 ▼ 】 アリックしてアクションを訪加し	プラムの → > > > > > > > > > > > > > > > > > > >	- εμ (R.H Ξ-ΔΦ	
	ボタンー ass=false UUX アクション ay サブ RPGプログラムの アリケーションセクション・サ アリケーションセクション・サ アログラム ア ア ア <td>aン 呼び出し 呼び出し ワン 回 気は登録ヘッダウイS ククション ファ オブション ありません。 (メニュー)をク ヨン</td> <td>※出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する PILY N: 要は登録へッダク〉 開発 * イル返却時の気障 * 1 PILY つしてアクションを訪加し プログラム</td> <td>⁷ラムの マクラム東行和の処理 キャンイ ます。 な行うRPGプログ ムIDを指定する</td> <td>υ. (## 540</td> <td></td>	aン 呼び出し 呼び出し ワン 回 気は登録ヘッダウイS ククション ファ オブション ありません。 (メニュー)をク ヨン	※出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する PILY N: 要は登録へッダク〉 開発 * イル返却時の気障 * 1 PILY つしてアクションを訪加し プログラム	⁷ ラムの マクラム東行和の処理 キャンイ ます。 な行うRPGプログ ムIDを指定する	υ. (## 540	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	xxタンー xx91 xx92 xx91 xx91 xx91 xx91 xx91 xx91 xx91 xx91 xx92 xx95 xx75	a> 呼び 呼び出し 「フ>回 Stitを録 ヘッタウイタ 「クション ファ オブション 「 ありません。 [メニュー)をク ヨン pp Builder ◎	ド出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する マュット・東は登録ヘッタク 日前 ペール返却時の処理 マー	⁷ ラムの マクラム東行新の処理 キャンイ ます。 な行うRPGプログ ムIDを指定する	ен. Ка	
	ボタンー ass=false UUL2 アクション a> サブ RPGブログラムの アフリケーションセクション・サ アフリケーションセクション・サ アフログラム ア アログラム ア ア	aン 呼び 呼び出し ワン 回 支注登録 ヘッダウイシ ワション ファ オブション ありません。 (メニュー)をク ョン	※出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する アエット・現は登録へッダク> 回 余日 マイル返却時の気障 マ マリックしてアクションを訪加し アログラム PUワクしてアクションを訪加し アログラム	⁷ ラムの マクラム東行和の処理 キャンイ ます。 な行うRPGプログ ムIDを指定する	υ. (## 540	
	ボタンー ass=false UUU 2 アクシ ay ワブ RPGブログラムの アブット・受託 アブックーションセクション・サ ブログラム ア アンウン アクションセクション・サ アンウン アクションセクション・サ アンウン アクションセクション・サ アンウン アクションビ アンウン アクションが いいえ アクシ アクションが ・ ・	a> 呼び 呼び出し 「フ> 回 安注登録 ヘッダウイ5 「クション ファ オブション 「 ありません。 [メニュ をク ヨン pp Builder ◎	ド出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する アエット・東注意味へッタン 開発の マイル返却時の処理 マリックしてアクションを訪加し アリックしてアクションを訪加し アリックしてアクションを訪加し アレックしてアクションを訪加し アレックしてアクションを訪加し アレックしてアクションを訪加し アレックしてアクションを訪加し	⁷ ラムの マクラム東行前の処理 キャンイ ます。 な行うRPGプログ ムIDを指定する	- υν (R# -	
	x タンゴ xx 90 xx 91 xx 9	aン 呼び出し 呼び出し ワン マクション スプション ありません。 メニュー)をク ヨン の ひん ロー の し の の し の の し の の の の の の の の の の の の の	※出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する アエット・現は登録へッダク> 日年時 マイル返却時の気障 マ マリックしてアクションを訪加し アログラム アロックしてアクションを訪加し TEC020 下に020 国産価 花屋植 品ゆる マー マ	⁷ ラムの マリックは マリラム東行和の処理 キャンイ ます。 な行うRPGプログ ムIDを指定する	υ. (977 7/200	
	ボタンー ass=false UUL2 アグシ ay グブ RPGブログラムの アブット・受諾 アブックーションセクション 5 ブログラム ア アングラム ア ア ア ア スカ州 スカ州 ススポニカビア	a> 呼び 呼び出し 「フ> 回 安注登録 ヘッタウイ:5 「クション ファ オブション 「 ありません。 [メニュ を夕 ヨン pp Builder ◎ 第1555 ↓ 第15555 ↓ 第1555 ↓ ↓ 第1555 ↓ 第1555 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	ド出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する マエット・現ま登録へッタク 開発の マイル返却時の処理 マリックしてアクションを3的MU アログラム TEC020 TEC020 TEC020	⁷ ラムの → マリック時 マログラム東行前の処理 ます。 ます。 本行うRPGプログ ムIDを指定する	- υν αα	
		aン 呼び出し 呼び出し ロン マクション スプション ありません。 メニュー)をク ヨン の 日 の の し の の し の の し の の し の の の の し の の の の の の の の の の の の の	ド出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する マエット・東波整線へッタク は保護 マイル返却時の処理 マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ	⁷ ラムの 、 クリックは 、 クリックは 、 クリックは キャン ます。 、 な行うRPGプログ ムIDを指定する	υ. (977 7/200	
	ボタン・ sss=false UUU2 アクシ アンサン・安田 アクリーションセクション・ アフリケーションセクション・ アフリケーションセクション・ アフリケーション・ アフリケーション・ アリケーション・ アフリケーション・ アリケーション・ アリケーション・ アリケーション・ アリケーション・ <	a> 呼び 呼び出し 「フ> 回 安は登録へッタウイ:5 「クション ファ オブション 「 ありません。 [メニュー をク ヨン の 日 の 日 の の の の の の の の の の の の の	ド出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する アエット・現建築体ッタク 開発 マイル返却時の処理 ・1 アリックしてアクションを訪加し アリックしてアクションを訪加し アビ出し プログラム アビログラム	⁷ ラムの > 、 クリック時 ログラム東行新の処理 ます。 ます。 な行うRPGプログ ムIDを指定する	- υν απ	
	ボタンゴ SSS-False UUU2 アグシ マンサブ RPGブログラムの アフリト・受諾 アフリーションセクション・サ プログラム ア アログラム ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア <	aン 呼び出し Pびろ出し アフト回 受注教師ペッダウイS アクション ファ オプション 20 ありません。 (メニュー)をク ヨン の の の の の の の の の の の の の	K出しを行うRPGプログ グラムIDを指定する アエット・東建築時へッタク 目標の マイル返却時の処理 マイル返却時の処理 マー アロックしてアクションを追加し PECD20 PECD20 TEC020 TEC020 マー マー マー	⁷ ラムの 、 クリック時 「ログラム東行新の処理 キャン・ ます。 な行うRPGプログ・ なIDを指定する	- IV (9.# 540	

ルを生成する vvOut_toSS という API も用意されている。READ 命令などファ イル操作で取得したデータを出力する場 合には、データ構造体に値をセットした 上で、こちらの API を使用すればよい。

ダウンロードされた Excel ファイル を見ると、SQL で取得した結果が出力 されているのがわかる。【図 18】

ただし、このままでは SQL により取 得されたすべてのフィールドが出力され ており、行タイトルには、フィールド ID がそのまま出力される。ロジックを 追加することにより、出力する Excel の列設定をカスタマイズすることもでき る。カスタマイズした TEC040 プログ ラムが、【ソース 6】である。

【6-①】で、列の設定を行うための vvSSCol 構造体の配列を定義している。 そして【6-②】の部分で、Excel の列ご とに出力したいカラム(フィールド)お よび列のタイトルを設定している。【6-③】の vvOut_execSqlToSS にて、出 力する SQL 文字列とともに、列定義の 構造体配列をパラメータにセットするこ とで、列定義を含む Excel 出力が行える。 【図 19】

最後に、メール送信機能の実装例を紹 介する。ここでは、ファイルダウンロー ドで作成した Excel と同じものを添付 してメール送信する機能を紹介する。 【図 20】

フォームウィジェット上にある [メー ル送信] ボタンをクリックすると、メー ル送信先アドレスを入力するダイアログ が表示される。RPG プログラム呼び出 しのアクションを設定する際に、任意の パラメータを追加できるオプション設定 があり、今回はメールアドレスとして、 パラメータ"MAILTO"を追加している。 【図 21】

メールアドレスを入力して、[OK] ボタンをクリックすると、動的に作成し た Excel ファイルを添付したメールを、 指定したアドレスに送信する。この[メー ル送信] ボタンをクリックした時に実行 される RPG プログラム(TEC050)が、 【ソース7】である。

メール送信の APIを使用する場合、【7-①】のようにD仕様書に"/define includeEMAIL"を追加する。【7-②】 では、vvIn_charを使用している。これ は、Valence 側で指定された文字列を取 得する API で、追加パラメータに指定 した"MAILTO"と"sid"を取得して いる。"sid"はセッション ID のことで、 Valence を実行しているブラウザごとに 一意になる文字列が取得できる。

【7-③】が、Excel ファイルを生成す る部分である。今回はダウンロードでは なく、IFS上に Excel ファイルを一時 保管している。vvOut構造体の download フィールドに"F"を設定す ると、IFS上へファイルが作成できる。 今回は、セッション ID を使用した一意 な名称のExcel ファイルを生成している。

【7-④】が、メール送信内容を作成す る部分である。vvMail 構造体に宛先、 題名、本文、添付ファイル等の送信内容 をセットすればよい。

【7-⑤】が、実際にメールを送信する 処理である。vvMail_sendを実行し、 メールが正常に送信できた場合には "*ON"が、エラーとなった場合は "*OFF"が返却される。

メール送信処理が終わったら、IFS上 に一時保管したExcelファイルを【7-⑥】 で削除している。vvIfs_deleteFile は、 IFS上のファイルを削除する処理である。 今回のプログラムにより、指定された

メールアドレス宛てに、添付ファイル付 きのメール送信が行える。【図 22】

なお、メール送信機能を使用する場 合、あらかじめ Valence の設定画面に て、SMTP サーバーに関する設定をし ておく必要がある。

5. さいごに

本稿では、Valence App Builder から RPG を連携する手法について紹介してきた。Valence App Builder は、3つのステップで簡単にアプリケーションが作成できる。

ローコード開発プラットフォームで ある Valence App Builder は、一切の コーディングを行わずに開発できる。も ちろん業務ロジックなど複雑な処理には プログラムの追加が必要となるが、テン プレートプログラムと、Valence の API 使用方法をマスタすれば、RPG ス キルで簡単に処理が追加できる。

また今回紹介したとおり、RPG ToolKitを活用すれば、Valence App Builder のアプリケーションに対し、さ まざまな機能拡張も行える。ぜひ本稿を 参考に、さらなる Valence App Builder の活用をご検討いただきたい。

Μ

← ウィジ:	ce cットの編集*ユ	ーザーマスターメ	日 ンテナンス*	Nitro App	Builder O		呼び プロ	出しを行 ブラムID ²	うRPGブ を指定す	ログラ <i>レ</i> る	の
	Q2 9-67	- ポータルボッブアッ	ブウィンドウ オーバ	(- <i>L</i> 4	フィルク漫	キャデキストの場	含 24	ルタ済み	TECOX		0
¢ Bž	視察	15.01	887	etatea	入力例 大	\$708	a	ドロップタウン	変換先 チェックボッ	伊照	
0	D F2_REREC	D 連絡区分CD					88				
NR.	F2_REREN	M 連絡区分名					SD.				
7		0 ユーザー10	顺方一致				8,82				
60	F1_USUSM	M ユーザー名	邮分一致				8.85				
絞り込み等	そ件 (フィルタ) 設定は	1) <u>1</u>				8.85				
[フィルタ]ら	びで定義する)					日動				
ファイ ライ オブ: 2= 編 8= 記	イル・・・ イブラリー ンョンを入 集 3= 述の表示 ンパー	<u>ORPGI</u> ソAI カして、ま ^{コピー} (9= 保管 タイク	_ESRC _ENCE52 \$行キーを 4= 削除 5 13=5 テキス	・押して 5= テキストの	(くださ 表示)変更	立置指5 い。 6= 14=	定 = 印 =コンハ	。 - 利 イル	7= 名 15=モン	前のユール・	IGAROP7 変更 作成
ファイ ライ オン 3= 記 OPT E E E E E	イル・・ イブラリー ションを入 集 3= 述の表示 XNABFLT XNABFLT XNABFLT XNABVAL XNS01 XPDF01 XPDF02 リックサン	ORPGI VAI カして、ま ^{コピーー} 9= 保管 <u>9472</u> SQLRPGLE SQLRPGLE RPGLE RPGLE RPGLE RPGLE	ESRC ENCE52 (行 十 一 を 1 3 = 7 1 4 = 7	・押して 5= Fキストの Examp Examp Examp ence Es ance Es	(表示)変更 les - B les - W les - D xamples xamples	立置指す 6= 14= No idget Datasou - No - PDF - PDF	定 = 印 Cal Fil Irce Sec	副 イル Edit Irity Create	7= ≄ 15=₹シ Validat - Simp a PDF a PDF	前の ュール e For from	女更作成 m RPG 1 RPG 2
ファイ ライ オー 3= 記 OPT 11 ボタンク 実行画面イ	イル・・ イブラリー ションを入 集 3= 述の表示 XNABBTN XNABFLT XNABVAL XNS01 XNPDF01 XPDF02 リック サン	ORPGI VAI カして、ま ^{コピー} (9= 保管 <u>\$417</u> SQLRPGLE SQLRPGLE RPGLE RPGLE RPGLE	ESRC ENCE52 (行キーを す 前除 5 13=5 7+2 NAB NAB NAB Vale Vale	:押して 5= Fキストの Examp Examp Examp Examp Examp Ence E:	住 表示 変更 les - B les - W les - D xamples xamples	立置指す 6= 14= Button Vidget Datasou - No - PDF - PDF	定 = 印// Cal Fil Sec Sec	副 イル Edit Ireate Create	7= ₹ 15=₹ÿ Validat - Simp a PDF a PDF	前の) ュール・ ion from from	gAROP7 変更 作成 RPG 1 RPG 2
ファイ ライ オー 3 2 3 3 3 3 3 3 3 1 7 4 3 3 5 7 4 3 5 7 4 3 5 7 4 3 5 7 4 3 5 7 5 7 4 3 5 7 5 7 4 3 5 7 5 7 4 3 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5	イル・・ イブラリー ションを入 集 3= 述の表示 XNABBTN XNABFLT XNABVAL XNS01 XPDF01 XPDF02 リック サン メージ e	ORPGI シー シー シー ター 保管 シイフ SQLRPGLE SQLRPGLE RPGLE RPGLE RPGLE RPGLE RPGLE	ESRC ENCE52 (行キーを す 前除 5 13=7 7キス NAB NAB NAB Vale Vale	:押して 5= Fキストの Examp Examp Examp Examp Examp Ence E	住 表示 変更 les - B les - W les - D xamples xamples	立置指す 6= 14= Button Nidget Datasou - No - PDF - PDF	定 = 印 Cal Fil Irce Sec	副 イル Edit Treate	7= ₹ 15=₹ÿ Validat - Simp a PDF a PDF	前の) ュール・ cion e For from from	gAROP7 変更 作成 RPG 1 RPG 2
ファイ ライ オージョー 2= 編 8= 記 OPT 実行画面イ i valence 商品マスタメ 新規登録 *RACD C-0001 *RAS	イル・・ イブラリー ションを入 集 3= 述の表示 XNABBTN XNABFLT XNABVAL XNS01 XPDF01 XPDF02 リック サン メージ e ンテナンス	ORPGI シムロ シムロ シー シー シー シー マー 保留 シイフ SQLRPGLE RPGLE RPGLE RPGLE RPGLE プルプログラ	LESRC ENCE52 (行 十 一 を 1 前除 13=7 7+2 NAB NAB NAB Vale Vale	:押して 5= Fキストの Examp Examp Examp Ence Ei ance Ei	イ くださ 表変 les - B les - W les - W les - D xamples xamples	立置指す 6= 14= 3utton (idget 0atasou idget idget	定	副 イル Edit arity Create Create Create Create	7= ぞ 15=モジ Valida - Simp a PDF a PDF a PDF f a PDF 5 とに f f 規レコート	i 前の? ュール e For from from	g 更 作成 RPG 1 RPG 2
ファイ オフィー オフィー スクト オフィー スクト オフィー スクト スクト モー モー モー モー モー モー モー モー モー モー モー モー モー	イル・・ イブラリー ションを入 集 3= 述の表示 ンパー XNABBTN XNABFLT XNABVAL XNS01 XPDF01 XPDF02 リック サン メージ e	ORPGI シムレて、ま コピーー イ 9= 保管 <u>タイフ</u> SQLRPGLE SQLRPGLE RPGLE RPGLE RPGLE RPGLE RPGLE	LESRC ENCE52 (行 十 一 を 13 = 5 7 + 2 NAB NAB NAB Vale Vale Vale	:押して 5= Ftストの Examp Examp Examp Examp Examp Examp Examp Examp	イ くださ 表変 les - B les - D xamples xamples xamples xamples xamples	立置指す 6 14 8 14 8 14 8 14 8 14 9 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	定 Cal Fil Sec 「 「 「 「 」 「 」 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	副 イル Edit Ireate Create Create Create Create	7= ぞ 15=モジ Valida - Simp a PDF a PDF a PDF f a PDF f t t t t t t t t t t t t t t t t t t	前の) ュール from from	g 変更 作成 m RPG 1 RPG 2
ファイ ファイ オージョ 8= 30 0PT 実行画面イ ! valend 商品マスタメ 新規登録 *展品CD C00001 *展品を プリントTシャ 単価 2000	イ ル · · · イ ブ ラ リ ー ショ ン を 入 集 3= 述 の 表 示 XNABBTN XNABFLT XNABVAL XNS01 XPDF01 XPDF02 リック サン メージ e ンテナンス	ORPGI シム シム シム シス シー シー シー シー マー ネイン SQLRPGLE RPGLE RPGLE RPGLE RPGLE RPGLE RPGLE RPGLE	ESRC ENCE52 (行 キ - を 4 前除 5 13=7 7年2 NAB NAB NAB Vale Vale	:押して 5= Ftストの Examp Examp Examp Examp Ence E: ance E:	化 くださ 表変 les - B les - D xamples xamples xamples xamples xamples	立置指: 6= 14= 3utton (idget 0atasou - No - PDF - PDF - PDF - PDF - PDF - PDF - Sutton (1) - F(1) - F(定 	副 イル Edit Irity Create Create Create	7= ぞ 15=モジ Validat - Simp a PDF a PDF a PDF f UDF a PDF a PDF まする場合	ion e For from from	g 更 作成 RPG 1 RPG 2
ファイ オフィ 3 2= 編 3 3 0PT 集 1 1 ボタンク 実行画面イ 高品マスタメ 新規登録 ・ 成品CD C00001 ・ で品CD C00001 ・ で品名 フリント下シャ 半 電 2000	イル・・ イブラリー ションを入 集 3= 述の表示 <u>ンパー</u> XNABBTN XNABFLT XNABVAL XNS01 XPDF01 XPDF02 リック サン メージ e ンテナンス	ORPGI VAI カして、ま コピーー(9= 保留 SQLRPGLE RPGLE RPGLE RPGLE プルプログラ	LSRC ENCE52	:押して 5= Fキストの Examp Examp Examp Ence Ei ance Ei	住 くださ 表変 les - B les - W les - D xamples xamples xamples traffic	立置指5 6= 14= 3utton /idget <u>atasou</u> i - No i - PDF i - PDF 公式 (1) ポタング バロし、画面 マスター(1) まする。 に、 に、 に、 の に、 の に、 の に、 の に、 の に、 の に、	定 Cal Fil Sec 	副 イル Edit arity Create Create Create	7= ぞ 15=モジ Valida - Simp a PDF a PDF a PDF 5とに ff規レコート モする場合	i 前の) i ion e For from from	g 更 作成 RPG 1 RPG 2
ファイ オファイ オファイ オファイ コー コー コー コー コー コー コー コー コー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー	イ ル · · · · イ ブ ラ リ ー ン = ン を 入 葉 3= 述 の 表 示 ンバ ー XNABBTN XNABFLT XNABVAL XNS01 XPDF01 XPDF02 リック サン メージ e ンテナンス	ORPGI YAI カして、ま コピーー 第一保留 A177 SQLRPGLE RPGLE RPGLE RPGLE プルプログラ 『 SBSマスタン	ESRC ENCE52 (行 キー を 13=7 7キス NAB NAB Vale Vale	:押して 5= F+ストの Examp Examp Examp Examp Ence Ei ance Ei	イ くださ しes - B les - W les - D xamples xamples xamples tamples	立置指す 6 14 8 14 8 0 14 8 0 14 9 14 9 14 9 14 9 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	定 Cal Fil Sec Sec 「 「 「 」	副 Ther Pr Edit arity Create Create Create Dropped	7= ぞ 15=モジ Ogram Valida - Simp a PDF a PDF a PDF まする場合	innの inn e For from from	g 変更 作成 m RPG 1 RPG 2

0001.00 /copy qcpylesrc.vvHspec 0002.00 ** Copyright (C) 2008-2018 CAX Corporation 0005.00 ** Object ID: EXMABBIN 0005.00 ** Version: V5.2 0106.00 ** NOTE: this must be compiled with RPGPPOPT = *LVL2 0106.00 ** NOTE: this must be compiled with RPGPPOPT = *LVL2 0106.00 // ernebbtn pr 1 - ① 0107.00 #* program start 0111.00 ** program start 0111.00 // free // place your code within the Process procedure 0111.00 // process(): // end-free 0112.00 // free jin r*Kon; 0112.00 // process(): 0ia 0112.00 // free jin r*Kon; 0122.00 // process b jin r*Kon; 0122.00 // sample of retrieving filter values 1-③ 0122.00 // ree jin r*Kon; 0122.00 // c< pi 0122.00 // ree jiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	ソース1 テン	プレートプログラム(EXNABBTN)	
0002.00 ** Copyright (C) 2008-2018 CMX Corporation 0004.00 ** Object ID: EXABBIN 0006.00 ** Version: V5.2	0001.00	/copy gcpylesrc.vvHspec	
0005.00 *** Object ID: EXMARGIN 0005.00 *** Version: V5.2 0104.00 ** NDTE: this must be compiled with RPGPPOPT = *LVL2 0105.00 ** NDTE: this must be compiled with RPGPPOPT = *LVL2 0106.00 demonstation pr 1 - ① 0108.00 /demonstation pr 1 - ① 0108.00 /define nabButton 0108.00 /demonstation 0108.00 /include acpylesrc.vvNabTmpl 0111.00 *** 0118.00 //rec Initialize(): 0111.00 ** 0118.00 //rec Initialize(): 0117.00 #* Initialize(): 0118.00 //recess(): CleanAb(): ** Initialize(): 0118.00 //recess(): CleanAb(): ** Initialize(): 0118.00 //recess(): CleanAb(): ** Initialize(): 0122.00 // sample of retrieving filter values Initialize(): Initialize(): 0122.00 // sample of retrieving filter values /// Initialize(): Initialize(): 0122.00	0002.00 0003.00	** Copyright (C) 2008-2018 CNX Corporation	
<pre></pre>	0005.00	** Object ID: EXNABBIN ** Version: V5.2	
0104.00 ** NOTE: this must be compiled with RPGPPOPT = #LVL2 0105.00 demonsbir pr 1-0 0108.00 //define nabButton 0108.00 //nclude acpylesrc.vvNabTmp1 0110.00 ** program start 0112.00 // free 0114.00 Initialize(): 0115.00 // place your code within the Process procedure 0118.00 // process(): CleanUp(): winir=mon; 0122.00 // end=free 0122.00 // sample of retrieving filter values 0122.00 // sample of retrieving filter values 0122.00 // sample of retrieving filter values 0122.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // isample of retrieving filter values 0158.00 // volut_tolsonPair('successitrue, info:Processing completed, refresh:true'): // volut_tolsonPair('successitrue, info:Processing completed, refresh:true'): // volut_tolsonPair('successitrue, info:Processing completed, refresh:true'): // (plude acpylesrc.vNhbTmp1		<<< 中略 >>>	
0105.00 0107.00 0108.00 0108.00 0108.00 0108.00 0108.00 0108.00 0108.00 0110.00 **	0104.00	** NOTE: this must be compiled with RPGPPOPT = *LVL2	
0108.00 //define nabButton 0108.00 //include acpylesrc, vvNabTmpl 0110.00 #* 0111.00 #* 0111.00 //ree 0112.00 #* 0112.00 // free 0114.00 Initialize(); 0115.00 // place your code within the Process procedure 0118.00 // process(); 0118.00 CleanUp(); 0118.00 CleanUp(); 0118.00 // end-free 0122.00 p Process b 0122.00 d MMyChar s 10a 0122.00 d MMyChar s 10i 0 0124.00 d MMyChar s 05535a 0127.00 d MMyChar s 65535a 0127.00 d/free 0128.00 // end-free *>>> 0157.00 // end-free 0158.00 // end-free 0158.00 // end-free 0158.00 // include gopylesrc, vvNabTmpl	0106.00	d exnabbtn pr 1-① d exnabbtn pi	
0113.00 //nclude qcpylesrc,vvNaDimpl 0111.00 ** 0111.00 ** 0111.00 ** 0112.00 ** 0113.00 /free 0114.00 Initialize(); 0114.00 Initialize(); 0114.00 Initialize(); 0115.00 // place your code within the Process procedure 0118.00 // 0118.00 // 0118.00 // 0118.00 // 0118.00 // 0120.00 Process(): 0121.00 end-free ** ** 0122.00 p Process 0122.00 d MyChar s 0122.00 d MyChar s 0122.00 d MyStat s 0128.00 // free // 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // * 0158.00 // * 0158.00 // e 0160.00 e e 0160.00	0108.00	/define nabButton	
0111.00 0112.00 0113.00 0114.00 0114.00 0114.00 0115.00 0115.00 0118.00 0118.00 0118.00 0118.00 0122.00 0125.00 0125.00 0125.00 0189.00 0125.00 0189.00 0126.00 0125.00 0158.00 0128.00 015	0109.00	/include gcpylesrc,vvNablmpl	
0112.00 **	0111.00	** program start	
0113.00 // free 0114.00 Initialize(): 0115.00 // place your code within the Process procedure 0116.00 // 0117.00 Process(): 0118.00 0120.00 Process b 0122.00 d IMyChar s 10a 0122.00 d IMyChar s 10a 0125.00 d IMyChar s 10i 0 0126.00 d IMyChar s 55535a 0127.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0129.00 // 0156.00 // sample of retrieving filter values 0157.00 // 0158.00 // 0158.00 // 0158.00 // 0158.00 // 0158.00 // 0158.00 // 0158.00 // 0158.00 // 0158.00 // 0161.00 // 0161.00 // 0161.00 // 0161.00 // include gcpylesrc.vvNabImp]	0112.00	**	
0114.00 Initialize(); 0115.00 // place your code within the Process procedure 0116.00 // place your code within the Process procedure 0118.00 // place your code within the Process procedure 0118.00 // place your code within the Process procedure 0118.00 // cleanUp(); winir=Mon; /end=free ** 0122.00 p Process b d pi 0122.00 p Process b d MyNum s 10i 0 0126.00 d MyNum s 10i 0 0126.00 d MyStatt s 65535a 0127.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0158.00 // somple of retrieving filter values 0158.00 // somple of retrieving filter values 0158.00 // include gcpylesrc.vvNabTmp]	0113.00	/free	
0115.00 // place your code within the Process procedure 0118.00 // 0117.00 Process(): 0118.00 CleanUp(): winir=Won; //end-free 0122.00 p Process b d pi 0124.00 d IMyChar s 10a 0125.00 d IMyChar s 10i 0 0126.00 d IMyChar s 55535a 0127.00 // ree 0128.00 d/free 0128.00 // sample of retrieving filter values // <<< 中唱 >>> 0157.00 // 0158.00 vvOut_toJsonPair('success:true.info:Processing completed.refresh:true'): // voOut_toJsonPair('success:true.info:Processing completed.refresh:true'): // voOut_toJsonPair('success:true.info:Processing completed.refresh:true'): // include gcpylesrc.vvNabTmp]	0114.00	Initialize():	
0116.00 // 0117.00 Process(): 0118.00 CleanUP(): winir=%on; 0120.00 winir=%on; 0121.00 winir=%on; 0122.00 p Process b d pi 0124.00 d IMyChar s 10a 0125.00 d IMyChar s 10i 0 0126.00 d IMyChar s 65535a 0127.00 // ree 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0158.00 // vvOut_toJsonPair('success:true, info:Processing completed, refresh:true'): /end-free 0151.00 // include gcpy[esrc.vvNabTmp]	0115.00	// place your code within the Process procedure	-1-2
0117.00 0118.00 0118.00 0120.00 0120.00 0120.00 0121.00 0122.00 0122.00 0122.00 0122.00 0122.00 0124.00 0124.00 0126.00 0180.00 0180.00 0180.00 017.00 017.00 017.00 017.00 017.00 017.00 0157.00 0157.00 0157.00 0158.00	0116.00	<u>. Mana antis ante na tres esta na transferia da secto a la presenta entra da la compositiva da la compositiva</u>	
0118.00 CleanUp(); 0119.00 #inir=#on; 0120.00 /end-free *** *** 0122.00 > Process 0124.00 d IMyChar 0125.00 d IMyNum 0125.00 d IMyStmt 0128.00 // ree 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0157.00 // 0157.00 // 0157.00 // 0158.00 yvOut_toJsonPair('success:true, info:Processing completed, refresh:true'): 0158.00 p 0158.00 /include gcpy[esrc.vvNabTmp]	0117.00	Process();	
0118.00 #inir=#on; /end-free ##	0118.00	CleanUp();	
0120.00 /end-free 0121.00 #* 0122.00 p Process b 0123.00 d pi 0124.00 d IMyChar s 10a 0125.00 d IMyChar s 10i 0125.00 d IMyChar s 10i 0128.00 d IMyStmt s 85535a 0127.00 //ree // sample of retrieving filter values // 0128.00 // sample of retrieving filter values // 0128.00 // supple of retrieving filter values // 0128.00 // supple of retrieving filter values // 0128.00 // supple of retrieving filter values // 0158.00 // supple of retrieving filter values //	0113.00	#inir=≋on;	
0121.00 0122.00 0122.00 0123.00 0124.00 0124.00 0125.00 01MyChar s 10a 0125.00 01MyChar s 10i0 0128.00 01MyChar s 85535a 0127.00 017.00 0128.00 0128.00 0128.00 0128.00 0128.00 0128.00 0128.00 0158.0	0120.00	/end-free	
0122.00 → p Process b 0123.00 d MyChar s 10a 0124.00 d MyChar s 10i 0 0125.00 d MyStmt s 85535a 0127.00 //ree 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0158.00 // sample of retrieving filter values 0158.00 // vvOut_toJsonPair('success:true, info:Processing completed, refresh:true'): 0158.00 // vvOut_toJsonPair('success:true, info:Processing completed, refresh:true'): 0158.00 // include gcpy[esrc.vvNabTmp]	0121.00	**	<u>10</u>
0123.00 d pi 0124.00 d IMyChar s 10m 0125.00 d IMyChar s 10i0 0125.00 d IMyStmt s 65535a 0127.00 //ree //sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0158.00 // <<<< 中唱 >>>> 0158.00 // vvOut_toJsonPair('success:true,info:Processing completed,refresh:true'): 0158.00 //end-free e 0181.00 /include gcpy[esrc.vvNabTmp]	0122.00	→ p Process b	1-3
0124.00 d IMyChar s 10m 0125.00 d IMyNum s 10i 0 0126.00 d IMyStmt s 85535a 0127.00 /free // 0128.00 /// 0128.00 // sample of retrieving filter values // 0129.00 // sample of retrieving filter values // 0157.00 // <<<< 中唱 >>>> 0157.00 // vvOut_toJsonPair('success:true, info:Processing completed, refresh:true'): 0158.00 // end-free 0158.00 // e 0158.00 /include gcpylesrc.vvNabTmpl	0123.00	d pi	0 X
0125.00 d IMyNum s 1010 0126.00 d IMyStmt s 85535a 0127.00 /free 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // 0128.00 // 0128.00 // 0128.00 // 0128.00 // 0157.00 // 0157.00 // 0158.00 vvOut_toJsonPair('success:true, info:Processing completed, refresh:true'): 0158.00 /end-free 0180.00 p 0181.00 /include gcpylesrc.vvNabTmpl	0124.00	d MyChar s 10a	
0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // sample of retrieving filter values 0128.00 // <<< 中國名 >>> 0157.00 // vvOut_toJsonPair('success:true, info:Processing completed, refresh:true'): 0158.00 // vvOut_toJsonPair('success:true, info:Processing completed, refresh:true'): 0158.00 // ord-free 0180.00 p e 0181.00 /include gcpy[esrc.vvNabTmp]	0125.00	dittyNuta s 10i0	
0127.00 // ree 0128.00 // sample of retrieving filter values 0129.00 // 0157.00 // 0157.00 // 0158.00 vvOut_toJsonPair('success:true, info:Processing completed, refresh:true'); 0158.00 /end-free 0160.00 p e 0161.00 /include gcpylesrc.vvNabTmp1	0126.00	d MyStmt s 60535a	
0128.00 // sample of retrieving filter values 0129.00 // 0157.00 // 0157.00 // 0158.00 vvOut_toJsonPair('success:true, info:Processing completed, refresh:true'); 0158.00 /end-free 0160.00 p e 0161.00 /include gcpylesrc.vvNabTmpl	0127.00	NT TEE THE STATE OF A STATE AND A STATE OF	
0123.00 // <<< 中略 >>> 0157.00 // 0158.00 // 0158.00 /vvOut_toJsonPair('success:true,info:Processing completed,refresh:true'); 0158.00 /end-free 0160.00 p e 0161.00 /include gcpylesrc.vvNabTmp1 0161.00 /include gcpylesrc.vvN	0120.00	// sample of retrieving filter values	
0157.00 // 0158.00 //Ut_toJsonPair('success:true,info:Processing completed,refresh:true'); 0158.00 /end-free 0160.00 p e 0161.00 /include gcpylesrc.vvNabTmpl	0123.00	11	
0157.00 // 0158.00 vvOut_toJsonPair('success:true,info:Processing completed,refresh:true'): 0158.00 /end-free 0160.00 p e 0161.00 /include gcpylesrc.vvNabTmpl		<<< 中略 >>>	
0158.00 vvOut_toJsonPair('success:true,info:Processing completed.refresh:true'): 0158.00 /end-free 0180.00 p e 0181.00 /include gcpylesrc.vvNabTmpl	0157 00	H	
0158.00 /end-free 0160.00 p e e 0161.00 /include gcpylesrc.vvNabTmpl	0158 00	would to isonPair ("successitive infor Procession completed refreshtrue"):	
0180.00 p e e 0181.00 /include gcpylesrc.vyNabTmpl	0158.00	/end-free	
0181.00 /include gcpylesrc.vvNabTmpl	0160.00	p: et	
	0161.00	/include gcpylesrc.vvNabTmpl	

ソース2 商品マスタメンテナンス新規登録(TEC010)

0001.00 0002.00 0005.00 Fst -0006.00 F#<(商品マスタ) 0008.00 FMSYOHIN UF A E 0009.00 K DISK 8810.00 d TEC010 2-0 pr 0013.00 /define nabButton 8814.00 /include_gcpylesrc.vvNabTmpl 0015.00 0018.00 ** program start 0018.00 0019.00 0023.00 \$K + 0026.00 VSYHNCD 10A 2-0 0030.00 Dill 2-3 //フォーム上の値を取得 0032.00 VSYHNCD = GetFormChar('F1_SYHNCD'); VSYHNNM = GetFormChar('F1_SYHNNM':'0'); //商品CD 0033.00 //商品名 0034.00 //単価 /end-free 0036.00 0038.00 --牛ー重複チェック 0039.00 0040.00 0041.00 8042.00 2-5 0043.00 //エラーメッセージを送信 0044.00 vvOut toJsonPair('success:false.' 0045.00 + 'mss:入力した商品C Dは既に存在しています' 0046.00 /end-free 0847.00 C# 0048.00 ELSE 0049.00 新規レコード登録 2-4 0050.00 Z-ADD 2 - 60058.00 + 'info:登録が終了しました'); 0059.00 /end-free 8064.00 /include acpylearc.vvNabTmpl

SQL ILE RPG #	ブジェクト の作成	(CRTSQLRPGI)	
選択項目を入力して、実行キーを打	甲してください。		
オブジェクト ライブラリー ソース・ファイル ライブラリー ツース・メンバー ソース・ストリーム・ファイル	> TECO10 > TECREP19 > ORPGLESRC > TECREP19 > TECO10	名前 _ 名前, *CURL1B 名前, ORPGLESRC 名前, *L1BL, *CURL1B 名前, *OBJ	
コミットメント制御 リレーショナル・データベース コンパイル・タイプ 出力リスト テキスト '記述	*NONE *LOCAL > +PGM *NONE *SRCMBRTXT	*CHG, *ALL, *CS, *NONE *PGM, *SRVPGM, *MODULE *NONE, *PRIN RPGをコンパイルする場合、	
追加のバラメー	·9-		ンは
ブリコンパイラー・オブション 値の終きけ+ RPG プリプロセッサー・オプション ターケット・リリース	+XREF +LVL2 +CORRENT	*XREF, *NOXR	
INCLUDE ファイル	+SRCFILE +LIBL *NONE	名前, *SRCFILE _ 名前, *LIBL, *CURLIB	
データのコピー可能 SQL カーソルのクローズ プロック化可能	+OPTIMIZE +ENDACTGRP +ALLREAD	*OPTIMIZE, *YES, *NO *ENDACTGRP, *ENDMOD *ALLREAD *NONE *READ	
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ			
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ Valence	[行〕	追加]ボタンクリックし、ポップアップ(登録)画面を表示	7
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ I valence ユーザーマスターメンテナンス	[行〕	追加]ボタンクリックし、ポップアップ(登録)画面を表示	Ā
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ I valence ユーザーマスターメンテナンス	[行〕	追加]ボタンクリックし、ポップアップ(登録)画面を表示	Ā
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ valence 第 2-ザ-マスターメンテナンス ユーザーマスターメンテナンス		自加]ボタンクリックし、ポップアップ(登録)画面を表示	⊼
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ 実行画面イメージ 第 ユーザーマスターメンテナンス コーザーマスターメンテナンス 第 ユーザーマスターメンテナンス コーザーマスターメンテナンス 第 ユーザー名 第 ユーザー1 ユーザー名 第 スーパー1 ユーザー名 第 日の月 マルオ 第 日の月 マルオ 第 日の月 マルオ 1 ビロンプログラム 1 ビロンプログラム 1 ロンプログラム 1 ロンプログラム 1 ロンプログラム 1 ロンプログログラム	[行〕 I valence 工-ザ-マスS	自加]ボタンクリックし、ポップアップ(登録)画面を表示	
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ 実行画面イメージ 第 ユーザーマスターメンテ ② レーザーマスターメンテナンス ③ ユーザーマスターメンテナンス ユーザーマスターメンテナンス ③ ユーザーマスターメンテナンス メールマスターメンテナンス ③ ユーザーマスターメンテナンス メールマスター メールマスター メロジーマスター メンテナンス メロジーマスター メンテナンス メロジーマスター メンテナンス メロジーマスター メンテナンス メロジーマスター メンテルマス メロジーマスター メンジーマスター メロジーマスター メンジーマスター メロジーマスター メンジーマスター メロジーマスター メンジーマスター メロジーマスター メンジージーマスター メロジーマスター メロジーマスター メロジーマスター メロジーマスター	[行〕 111 111 111 111 111 111 111 111 111 1	自加]ボタンクリックし、ポップアップ(登録)画面を表示	
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ 実行画面イメージ コージーマスターメンテナンス マalence コージーマスターメンテナンス ユージーマスターメンテナンス コージーマスターメンテナンス ユージード 1 ユージー6 副国区96 メームアトレス メージー10 コージー7 マングー7 マングー7 マングー7 メージー10 コージー6 副国区96 メームアトレス 1 いのみのの エカワー7 アングー7 ロージー6 2 0240 福祉 目前 メールのみ castigueccom 3 0240 福祉 目前 メールのみ castigueccom 4 ソム40A 山田 大参 シールのみ castigueccom 4 イーバージ 1 パーシーの メールのみ	[行〕 TTL TTL TTL TTL TTL TTL TTL TTL TTL TT	自加]ボタンクリックし、ボップアップ(登録)画面を表示 *エーザ-10 MGAR0 *ユーザ-6 *コーザ-6 *コーザ-6 *コーザ-6 *コーザ-6 *コーガー *コールのみ 2:電話のみ 3:メール&電話 よりプルダウンで選択	
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ 実行画面イメージ コージーマスターメンテナンス マalence コージーマスターメンテナンス コージーマスターメンテナンス 国民296 メームアトレス ロージーマスターメンテナンス 国民296 メームアトレス ロージーマスターメンテナンス 国民296 メームアトレス ロージーマスターメンテナンス ロージーマスターメンテナンス ロージーマスターメンテナンス 国民296 メームアトレス ロージーマスターメンテナンス ロージーの ロージーの ロージーマスターメンテナンス ロージーの ロージーの ロージーマスターメンテナンス ロージーの ロージーの ロージーマスターメンテナンス ロージーの ロージーの ロージーマスターメンテナンス ロージーの ロージーの ロージーの ロージーロージーロージーロージーロージーロージーロージーロージーロージーロージ	[行〕 Tit I valence ユーザーマス5	自加]ボタンクリックし、ボップアップ(登録)画面を表示 *エーザー10 MGAR0 *ユーザー名 2702ユーザー 2702ユーザー 2702ユーザー 2702ユーザー 2702ユーザー 2702ユーザー 2702ユーザー 2702ユーザー 2702ユーザー 2702ユーザー 2702ユーザー 2702	
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ I volence 画 1-ヴーマスターメンテナンス ユーザーマスターメンテナンス 画 2-ヴーマスターメンテナンス メーサーTD 1 1-ヴー6 単単元の6 メーガーマスターメンテナンス メールンパー メロジーTD 1 1-ヴー6 単単元の6 メージンス シールンパー 1 KOBAVASH ジボ 8 1 KOBAVASH ジボ 8 2 OZAG 尾畑 8 1 VAMADA 山田 末都 メールのみ ソールの名 1 VAMADA 山田 末都	[行力] ITEL IEValence ユーザーマス5 ユーザーマス5 コンチー101 IEValence ユーザーマス5 ロージーマス5 ロージーマス5 ロージーマス5	自加]ボタンクリックし、ポップアップ(登録)画面を表示 *ユーザー10 MGARO *ユーザー3 2002-ザー 第202-ザー 第202-ザー 第202-ザー 第202-ザー 第202-ザー 第202-ザー 第202-ザー 第202-10 第20	
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ シマローマスターメンテナンス ユーザーマスターメンテナンス エーザーマスターメンテナンス エーボージーを エージーを ロンター エージーを マーパージーを エージーを マーパージーを エージーを マーパージーを エージーを マージーを エージーを マージーを エージーを マージーを エージーを エージーを エージーを エージーを エージーを エージーを	[行] I valence ユーザーマス5 I valence ユーザーマス5 マンパロ I would a マンパロ マンパロ マンパロ マンパロ マンパロ マンパロ マンパロ マンパロ マンパロ マンパロ マンパロ マンパロ マンパロ	自加]ボタンクリックし、ボップアップ(登録)画面を表示	
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ volence ユーザーマスターメンテナンス マーザーマスターメンテナンス マーザーマスターメンテナンス マーザーマスターメンテナンス マーザーマスターメンテナンス マーガーマスター マーガー マーガー マーガー マーガー マーガー マーガー マーガー マー	[行] I valence ユーザーマス5 コーザーマス5 コーザーマス5 コーザーマス5 コーザーマス5 マン40 マン4	自加]ボタンクリックし、ボップアップ(登録)画面を表示	
Edit Grid サンプルプログラム 実行画面イメージ valence ユーザーマスターメンテナンス ユーザーマスターメンテナンス ユーザーマスターメンテナンス ユーザーマスターメンテナンス ユーザーマスターメンテナンス ユーザーマスターメンテナンス エージーの コージー6 副記296 メームアドレス メロシカー 「 「 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	[行] i valence ユーザーマスろ エーザーマスろ エーザーマスろ 「 はのARO このの で び出す。 次須 がTEL ともに必須	自加]ボタンクリックし、ボップアップ(登録)画面を表示	

ソース3-1 ユーザーマスタメンテナンス更新(TEC020)

0001.00	/copy gopylesrc	, vvHspec	
0002.00			
0003.00	** TEC020:ユーサ	ーマスタメンテナンス	
0004.00			
0005.00	F8		
0006.00	F* ファイル定義		
0007.00	F*		
0008.00	F# くメッセージマ	2,3>	
0009.00	FMMSGP IF	E K DISK	
0010.00		Č	
0011.00	d TEC020 3-(1) pr	
0012.00	d inMode	10a	
0013.00	d inDataPtr		
0014.00	d outStopProces		
0015.00		SBC	
0016.00	d TEC020 3-() Pî	
0017.00	d inMode	10a	
0018.00	d inDataPtr		
0013.00	d outStopProces		
0020.00			
0021.00	/define nabYali	dation	
0022.00	/include qcpyle	src,vvNabTmpI	
0023.00			
0024.00	** program start		
0025.00			
0026.00	/free		1.1.1.1
0027.00	initialize();		
0028.00			
0023.00	// perform val	idations based on the mode	
0030.00		nn*-	
0001.00			
0002.00	Processago(7	a 'cott's	
0003.00	ProcessEd:11	- EDI);	
0034.00	FT0DessEult(- 'DCI CTC'+	
0000.00	Prococcilatet	+()+	1 2 AS
0027 00	eleaif inHode	= "POSTADO"+	►3-©
00.9200	PronecePootA	- roomer,	
0039.00	aleaif inModa	= 'POSTOFI FTF'+	
0040.00	ProcessPostD	alata():	
0041.00	elseif inMode	= 'POSTEDIT':	
0042.00	ProcessPostE	dit():	
0843.00	endift	2010-00	
0044.00			
0045.00	Cleanilp():		
0046.00	*in[r=*on:		
0047.00	/end-free		
0048.00			
0049.00	->p ProcessAdd	b	
0050.00	d	pi	
0051.00			

0052.00	D LU	SRKEN	S	1A			
0053.00	D LUX	SEMAL		40A			
0054.00	D LUS	STEL		14A			
0055.00	D LEF			5A	5.0	N	
0056.00					3-6	9	
0057.00	/fre	e	30.1167.85				
0058.00	11-	画面上の)値を取得				
0059.00	LU	SRKBN = GetVa	lue("MUSER	':'USRKBN');	//連絡区分		
0060.00	LUS	SEMAL = GetVa	lue("MUSER	': USEMAL'):	//メールアドレス		
0061.00	LUX	STEL = GetVa	lue("MUSER	: USTEL):	//TEL		
0062.00	/end	free				1	
0063.00	C8	連絡区分=	1 (X-14	のみの場合)			
0064.00	C	LUSRKEN	IFE0	a fille and a second			
0065.00	C	LUSEMAL	IFEQ	*BLANK	1 million -		
00.3300	C		MOVEL	E0010	LERR		
0067.00	C.		ENDIF				
0068.00	0		ENDIF				
0069.00	C8	連絡区分=	2 (電話の)	みの場合)			
0070.00	ç	LUSRKBN	IFE0				-3-6
0071.00	ç	LUSTEL	IFE0	*BLANK			Ĭ
0072.00			MUYEL	£0020	LERR		
0073.00			ENDIF				
0074.00		2000000	ENDIF	o max matters			
0075.00	C8	建始区 75 =-	3 (3(-1))	る電話())78(日)			
0075.00		LUSERBR	1550	-201 ANN			
0077.00		LUSEMAL	10000	4 DL ANV			
0078.00		LUSIEL	MOVER	*DLANA	1 000		
0073.00			ENDIE	E0040	LENN		
0000.00			CNDIC				
0001+00	Čk		12-121102日				
0083 00	C	LERR	IFNE	SPS ANY			
0084-00		LERR	CHAIN	MMSCR		91	
0085 00	ĉ	#IN91	IFED	REF			
0088.00	760	54110-1 58	41.6-91	199.1			
0087.00		1/15-2-1	一ジ发送的	E .	2-65		
0088.00		SendError (MMS)	GTX):		3-0		
0083.00	Jen	i-free					
0090.00	C		ENDIF				
0091.00	C		ENDIF				
0092.00]
0093.00							
0094.00	p Pro	cessDelete					
		<<<	中略 >	>>			
0.03282000							
4124+44							

図14 Valence App Builder API一覧

1. クリック (EXNABBTN)

///	(2)(1)(2)(1)(2)	
I/O	API	概要
Ι	vvIn_char	処置パラメータの取得
Ι	GetFormChar	フィールド値取得(文字列)
Ι	GetFormNum	フィールド値取得(数値)
Ι	GetSelectionChar	選択したレコードのフィールド値取得(文字列)
Ι	GetSelectionNum	選択したレコードのフィールド値取得(数値)
Ι	GetFilterValue	フィルタ条件の取得
-	GetSqlStatement	関連するデータソースで実行されている SQL ステートメントの取得
0	vvOut_toJsonPair	ブラウザへ結果の返却
0	vvOut_data	ブラウザへ結果の返却(フィルターウィジェット実行)

2. Edit Grid (EXNABVAL)

I/O	API	概要
Ι	GetValue	入力値の取得
Ι	GetFilterValue	フィルター条件の取得
Ι	IsChanged	指定されたファイル/フィールドが変更されているかどうかを判断
-	SetValue	ファイル名、フィールド名の引数で設定、対象の値を更新
0	SetDoNotProcess	指定されたファイルへの追加、更新、削除処理をスキップ
0	SendError	処理の中断とメッセージの表示

3. フィルタ (EXNABFLT)

I/0	API	概要
Ι	GetValue	引数のフィルタ値の取得
-	SetValue	引数に設定したフィールドに対してフィルタ値を設定
0	AddFilterString	指定されたフィルタフィールドにフィルタを追加
0	WriteAllFilters	すべてのフィルタフィールドに対してフィルタを追加
0	SendError	処理の中断とメッセージの表示

図15 PDFファイル ダウンロード



ソース4 商品カタログPDFダウンロード(TEC030)

** TEC030:PDFダウンロード 0004.00 0805.00 /define nabButton 0008.00 /include qcpylesrc,vvNabTmpl 0003.00 0010.00 0013.00 0015.00 0018.00 8819.00 0020.00 0026.00 //フォーム上の値を取得 0028.00 SYHNCD = GetFormChar('F1_SYHNCD'): //商品CD 0029.00 0030.00 //PDF保存先PATH取得 4 - (1)PDFPATH = %trim(ROOTPATH) + 'resources/pdfs/' 0033.00 0034.00 //PDFファイル名取得 8035.00 FILENAME = %trim(SYHNCD) + '.odf': 0036.00 //PDFファイルの存在チェック if not vvlfs_pethExists(%trim(PDFPATH) + FILENAME): 4-(2)//ファイルが存在しない場合エラ 0039.00 vvOut_toJsonPair('success:false.mss:PDFが存在しません。'); //PDFファイルダウンロード 4-3 vvOut.file = FILENAME; 0044.00 vvOut_file(%trim(PDFPATH) + FILENAME:vvOut); endit: /end-free 0048.00

I valence		Nitro App Builder 🚫	4 23
← 動作内容			0
、 RPGプログ	ラムの呼び出し		-
アプリケーションヤ	クション Main 〉 (二) 高泉詳細	▶ ↑ カタロガガウンロード、♪▶ カリック時	
・プログラム	アクション	ファイル波却時の処理	前の処理
TEC030	オプション	9020-F · · ·	
			キャンセル 信存
1 1 L	0900990>0-8		
I ~ K	クリック時	170935	
9 · · · ·	ユーティリティ	RPGプログラムの呼び出し TEC030	
	+ (a) success=false	いいえアクション	
URL/(ラメータのフィル	ちょうち		
動的に作成した	:Excelファイル ダウ	シロード	
動的に作成した I valence	:Excelファイル ダウ	シロード へ 55	IBM i
動的に作成した I valence ^{田当者照会}	:Excelファイル ダウ		IBM i
動的に作成した ・ valence 担当者照会 担当者一覧 ^{国当者名、(第9一取)}	:Excelファイル ダウ	ウンロード ロ当者詳細 Name co	IBM i 受注ファイル F JUCHU H
動的に作成した ま valence 担当者競会 担当者一覧 取当者一覧 取当者の 取者名、(部ケー双) 取者名、(部ケー双) 取者名、(部ケー双) 取者名、(第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第ケー双) のの者名 (第 (第 (第 (((((((((((((Excelファイル ダビ	ウンロード 日当者詳細 1003 思想を 1003 思想を 1003	IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H
動的に作成した まvalence 担当者照会 担当者一覧 型当者こ(10分一段) 整新者に(10分一段) 整新者に(10分一段) 整新者に(10分一段) なります。(10分一段) 1001 単 東田寿	Excelファイル ダビ	フンロード 日当者詳細 日当者ご 日当者こ 日当者ご 日当者ご 日当者が 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受法 データをもとにExcel作成
動的に作成した valence 担当者照会 担当者に 知時者の(第57一般) 部時名の(第57一般) 部時名の(第57一般) 部時名の(第57一般) 1001 第第名の(第57一般) 1003 後年 高二 1004 伝義 1005 (1057-10) 1005 (Excelファイル ダイ	フンロード 日当者詳細 単志で 103 単志を 続ま 浩二 四志カナ ネゾコウジ	IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受法 データをもとにExcel作成
動的に作成した volence 担当者級会 担当者一覧 担当者一覧 和美な(第5)一段) 戦策者な(第5)一段) 戦策者な(第5)一段) 戦策者な(第5)一段) 戦策者な(第5)一段) 戦策者な(第5)一段) 戦策者な(第5)一段) 戦策者な(第5)一段) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5)一般) 戦策者な(第5) 戦策者な(第5) 戦策者な(第5) 戦策者な(第5) 戦策者な(第5)	Excelファイル ダウ	ウンロード 日当者詳細 単志名 現まる 現まる 現まる 現まる 現まる 現まる 現まる 現まる	IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受法 データをもとにExcel作成
動的に作成した マロ目のCC ロ目当者照会 辺目書名(第分一次) 部第名の1 の1 電 裏由美 1001 電 裏由美 1002 電 裏 電 二 1004 電 裏 電 二 1004 電 第 尾 1005 電 尾 1005 電 尾 1005 電 尾 1005 電 尾 1005 101 105	:Excelファイル ダイ このあれる () ※ C 27:#+1-25を表示	クンロード 日当者詳細 単語名 C0 1003 日前名力 発生 満二 日前名力7 ネジコウジ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受注 データをもとにExcel作成
動的に作成した USDATE (10)-10) USDATE (10)-	 Excelファイル ダイ Excelファイル ダイ ※ 27府中1-252表示 ジョン 27府中1-252表示 	クンロード 日当者詳細 単語名 現まる 現まる 現また 見また 見また で、 また マード マード マード マード マード マード マード マード	IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受注 データをもとにExcel作成
動的に作成した Udence 担当者照会 担当者一覧 短当者一覧 四世音る(部分一般) 電 高二 1001 電 高二 1003 電 高二 1004 電 高二 1004 電 高二 1004 電 高二 1004 電 高二 1005 電 高二 1004 電 高二 1005 電 高二 1004 電 高二 1005 電 高二 1004 電 高二 1005 電 四 1005 電 1005 電 1005 1005 電 1005	 Excelファイル ダイ このものから このものから このものから このものから ごのものから ごのから <	ウンロード 日当者詳細 単語名 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受決 データをもとにExcel作成
動的に作成した マローのに 型当者照会 担当者一覧 型当者 型 型当者 型 型当者 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	 Excelファイル ダビ このものから このものから このものから このものから ごのものから ごのものから ジーン <l< td=""><td>ウンロード 日当者詳細 日当者に 日当者: 日当者: 日当者: 日当者: 日当者: 日二日: 日日: 日日: 日日: 日日: 日日: 日日: 日</td><td>IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受法 データをもとにExcel作成</td></l<>	ウンロード 日当者詳細 日当者に 日当者: 日当者: 日当者: 日当者: 日当者: 日二日: 日日: 日日: 日日: 日日: 日日: 日日: 日	IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受法 データをもとにExcel作成
動的に作成した マロートには、 マートには、 マートには	:Excelファイル ダイ このもません シ » C 27府中1-25を表示 をキーに、受注ファイルの中 る受注データを取得し、 ってダウンロード	ウンロード	IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受法 データをもとにExcel作成
動的に作成した マローのに 担当者 担当者 型出者 (部分・取) 副出者 (部分・取) 副出者 (部分・取) 副出者 (部分・取) 副出者 (部分・取) 副出者 (部分・取) 「 の 「 の 」 の 「 の 」 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の	Excelファイル ダイ このあれた。(このあれた。) このあれた。(このあれた。) このあれた。(このあれた。) このあれた。(このあれた。) このあれた。(、) 、) 、) 、) 、) 、) 、) 、) 、) 、)	ウンロード	IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受法 データをもとにExcel作の
動的に作成した マロ目のに ロ目当者開会 辺目者の覧 辺目者の覧 辺目書る(第分一覧) 取用者の(第分の) 取用者のの) 取用者の(第分の) 取用者の(第分の) 取用者のの) 取用者の(第分の) 取用者のの) 取用者の(第分の) 取用者のの) 取用者のの(第分の) 取用者のの) 取用者	:Excelファイル ダイ ここままま。 シ ※ C 27年中1-252表示 をキーに、受注ファイルの中 る受注データを取得し、 レてダウンロード		IBM i 受注ファイル F_JUCHU_H 選択した担当者の受法 データをもとにExcel作成

ソース5 受注データExcelダウンロード(TEC040)

0001.00	Januar annista	and an Horses			
0001.00	ycopy dcpyle	src, vvnspec			
0002.00	99 TEC040 - 48-1	データがつ	ന്നപാം		
0003.00	ΦΦ 1EQ040.23	=1 - 2 2 2	2H-1		
0004.00	- TEC0 40				
	d TEC040				
0005.00	d recome	i pr			
007.00	/der me nabb	JULION Marine and Mari	Test		
0008.00	/include dcp	riesrc, vynat	0100P1		
0003.00	We program at				
0010.00	ee prostan sc				
1012 00	18 100				
0012.00	Initializat				
1014 00	Processe().				
0015 00	Cleanlin():				
0018.00	#inlr=Ront				
8017 00	lend-free				
0017.00	1941				
0010.00	n Procese				
0020.00	H 1 1000000				
0021.00	D TANTOCO		46		
1022.00	D SOI STR		327684		
1023.00	DR				
0024.00	lfree				
8825.88		トの値参取得			
0026.00	TANTOCO =	Get FormCharl	' 'FI T TANTO (D'):		当者CD
8027.88		1010-000 MINDOW	n neten notetto M	್ ನಗಳು	-
0028.00	//SOL抽出3	sife			5_0
0023.00	SOLSTR = "	SELECT * FR	OM F JUCHU H'		0-0
0030.00	+ *	WHERE H TAI	NTO CD = """ + TAN	NOCD + ****	
0031 00	· · · · ·	ORDER BY H	JUCHU NO':		-
0001100				<u></u>	
0032.00					
0032.00	//SOL抽出题	果をエクセ	レダウンロード	5-0	
0032.00 0033.00 0034.00	//SQL抽出系 vvOut.down	詰果をエクセ, load = '1':	ルダウンロード	5-@	
0032.00 0033.00 0034.00 0035.00	//SQL抽出紙 vvOut.down vvOut.file	詰果をエクセ load = '1'; = 'Orde	ルダウンロード erData.xlsx':	5-@	
0032.00 0033.00 0034.00 0035.00 0035.00	//SQL抽出結 vvOut.down vvOut.file vvOut.exec	詰果をエクセ, load = '1'; = 'Orde SqlToSS(vvDu	ルダウンロード erData.xlsx'; ut:SOLSTR):	5-Ø	
0032.00 0033.00 0034.00 0035.00 0035.00 0036.00	//SQL抽出結 vvOut.down vvOut.file vvOut_exec /end-free	詰果をエクセ, load = '1'; = 'Orde SqlToSS(vvOu	ルダウンロード erData.xlsx'; ut:SOLSTR);	5-Ø	
0032.00 0033.00 0034.00 0035.00 0035.00 0035.00 0035.00	//SQL抽出結 vvOut.down vvOut.file vvOut_exect /end-free	書果をエクセ, load = '1'; = 'Orde SqlToSS(vvOu e	ルダウンロード erData.xlsx'; ut:SOLSTR);	5-@	

図18 動的に作成したExcelファイル

	A1	• (e	∫x H.	JUCHU_NO						v
1	A	В	С	D	E	F	G	Н	I	Ę
1	I JUCHU NO	H_JUCHUBI	H_TANTO_C	H_KKYAK_CD	H_JUCHUKIN	H_YOTEIBI	H_SYUKABI	H_SYUKABIN	H_SYUKA_NO	1
2	10,000,077	2018-03-26	1003	100020	4,408,230	2018-03-27	1900-01-01			
3	10,000,120	2018-04-21	1003	100006	780	2018-04-23	1900-01-01			
4	10,000,158	2018-07-22	1003	100017	106,800	2018-07-23	2018-07-25	郵便小包	1569143347	_
5	10,000,175	2018-06-06	1003	100012	1,445,500	2018-06-12	2018-06-06	FEDDEX	1656110686	
6	10,000,183	2018-05-06	1003	100026	183,400	2018-05-08	1900-01-01			
7	10,000,233	2018-07-29	1003	100014	3,044,000	2018-08-05	2018-08-02	郵便小包	1925618472	
8	10,000,270	2018-06-01	1003	100005	503,840	2018-06-07	2018-06-05	長谷川運輸	1645224477	
9	10,000,300	2018-08-09	1003	100025	301,880	2018-08-10	1900-01-01			
10	10,000,302	2018-04-23	1003	100016	2,689,470	2018-04-27	2018-04-29	長谷川運輸	1506412851	
11	10,000,346	2018-06-15	1003	100011	702,930	2018-06-20	2018-06-22	郵便小包	1606839667	
12	10,000,381	2018-07-09	1003	100020	366,412	2018-07-12	2018-07-12	FEDDEX	1217493302	
13	10,000,408	2018-05-12	1003	100009	1,692,200	2018-05-14	1900-01-01			_
14	10,000,409	2018-08-06	1003	100025						
15	10,000,432	2018-05-15	1003	100008	SOI で抽ど	ドレホーフィー	ールドがす	ベて出力		- 1
16	10,000,465	2018-07-15	1003	100020	にたノトリノ			· (山)	6	- 1
17	10,000,525	2018-04-01	1003	100026	1791 1711	よ、ノイー)	VLIDNA	のまま山ノ	J	- 1
18	10,000,540	2018-04-19	1003	100011	されている					- 1
19	10,000,572	2018-06-20	1003	100005	2					_
20	10.000.595	2018-03-21	1003	100006	623.600	2018-03-22	2018-03-24	田川急便	1217850569	*



担当者照会	送信先のメールアドレスを指定
担当者一覧	担当者詳細 × メール送信先を入力してください。
田当著名(部分一致) 超当著名(部分一致)	201 和当日 201 日本 1003 1003 1003 1003 1003 1003 1003 100
1001 推 真由美 1002 (現末 理想)	世上 注二 記法 記述 記述
1003 65.8 a.:	
1004 05% A 1005 安藤 茂	
≪ < + -5 1 /2 + > ≫	2 27 併中 1-25 党委示
受注ファイルの中から担当者 Excelファイルを作成し、それ	着CDが合致する受注データを出力した 1をファイル添付したメールを送信 動的に作成した Excel
	行時に追加パラメータをセット
i valence	Nitro App Builder
← 動作內容	
RPGプログラムの呼び出	ボタングリック時に、追加情報を 入力するプロンプト画面を開く設定 ・
アプリケーションセクション Main > □	超当者詳細 > ビス × −ル送信 > ト クリック時 ファイル (法初時の)加速 ブログラム 憲行 約000 (注)
TEC050 アンオプショ	Prompt User For More Information - 3
メール送信先を入力してください。	
* ラベル	/(ラメーター名) *タイブ (MANTO) Fmail *
 必須 *長さ 	
30	パラメータ"MAILTO"を定義
キャンセル	ОК
	キャンセル 祭存
UR	
2 メール受信結果	
M 担当者别关注一教职会 - ocaki0 >	×
€ ∋ C ∆ (#	
= M Gmail	Q、メールを検索 • ⑦ Ⅲ G Suite @
(+ #s)	
日 受信トレイ 52	担当者別受注一覧報告 D 要回NUTX 春 C 副
★ スター付き	info支方口. @₽ 15.03 (0 分析) ☆ ★ : ⊘
	四日初 C D = 1003 の受け一部を始告したします。
 スヌーズ中 送信済み 	22.4.5. ALTER (LUB)
 スヌーズ中 送信済み 下書き 	
 スヌーズ中 送信済み 下書き カテゴリ メーシャル 	+

ソース7 メール送信(TEC050)

	ACCESS:	
/copy qcpylesrc.vvr	Ispec	
** TEC050:メール送信		
d TEC050 pr		
d TEC050 pi		
/define nabButton	7 -M	
/include activites.cc	vyNahTaol	
()		
🕫 program start		
/free		
Process()+		
CleanUp():		
*inlr=*on:		
/end-free		
k#		
rrocess b		
TANTOCO S	44	
MAILTO S	50A	
) TMPPATH S	20A	
SID SID	644	
)* 3.20121H 2	32766A	
/free		
11フォーム上の値?	を取得	
TANTOCD = GetForm	nChar('F1_T_TANT0_CD'); //担当者C_D	
MAILTO = vvIn_ch	nar('MAILTO'); //送信アドレス	1-0
SID = AATU_CU	nar(sid): //セッションIU	
//ファイル保存先!	取得	
//ファイル保存先 TMPPATH = vvUtili	取得 ty_setValenceSetting('TEMP_PATH');	
//ファイル保存先 TMPPATH = vvUtill	取得 ity_setValenceSetting("TEMP_PATH");	
//ファイル保存先 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTP = 'SELEVT	取得 ty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM モールCHU H'	
//ファイル保存先 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE	取得 lty_getValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H TANTO CD = ''' + TANTOCD + ''''	
//ファイル(保存先) TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO';	
//ファイル保存先 TMPPATH = vvUtili //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER	取得 ty_getValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO';	
//ファイル保存先 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF	取得 ty_getValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; S_上に出力	7-3
//ファイル保存先表 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download =	取得 Ity_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; SELIC出力 'F'; Ytele(TMPPATH) + SID + ' view'r	7-3
//ファイル/保存先表 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.execSalToS	取得 Ity_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; S_LIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vyOut:SOLSTR);	7-3
//ファイル保存先表 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut_execSqlToSS	取得 Ity_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; SLIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR);	7-3
//ファイル保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.file 3	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; FS_EIこ出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR);] ^{7-③}]7-④
//ファイル保存先表 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut_execSqlToSS //メール内容作成 vvMail.from	取得 Ity_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; S_EIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xIsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp';	7-③ 7-④
//ファイル/保存先表 TMPPATH = vvUtil) //SQL抽出条件 SQLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SQL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut_execSqlToSS //メール/内容作成 vvMail.from vvMail.from	取得 Ity_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; S_LIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; - 'info@migaro.co.jp';	7-3 7-@
//ファイル/保存先 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut_execSqlToSS //メール/内容作成 vvMail.from vvMail.to vvMail.subject soMail.body	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_LIC出力) 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = '担当者別受注一覧報告'; = '担当者別受注一覧報告';	7-3 7-4
//ファイル/保存先 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.file subject vvMail.subject vvMail.body	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; S_LIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = '祖当者別受注一覧報告'; = '祖当者のD=' + TANTOCD + ' ' + 'の受注一覧を超告いたします。':	7-3 7-4
<pre>//ファイル(保存先) TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + ' WHERE + ' ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file =</pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_EIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xIsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info®migaro.co.jp'; = MAILTO; = '担当者別受注一覧報告'; = '担当者の已=' + TANTOCD + ' ' + 'の受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file;	7-3 7-4
<pre>//ファイル/保存先見 TMPPATH = vvUtill //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut_execSqlToSS //メール/内容作成 vvMail.from vvMail.to vvMail.subject vvMail.body vvMail.attachAlia</pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_EIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = '担当者別受注一覧報告'; = '担当者C D=' + TANTOCD + ' ' + 'の受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file; xs = 'OrderData.xlsx';	7-3 7-4
//ファイル/保存先表 TMPPATH = vvUtili //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut_execSqlToSS //メール内容作成 vvMail.from vvMail.from vvMail.subject vvMail.body vvMail.attachment vvMail.attachAlie	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_LIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = '祖当者別受注一覧報告'; = '祖当者C D=' + TANTOCD + ' ' + 'の受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file; xs = 'OrderData.xlsx';	7-3 7-4
<pre>//ファイル/保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + ' WHERE + ' ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut_execSqlToSS //メール/内容作成 vvMail.from vvMail.from vvMail.body vvMail.subject vvMail.body vvMail.attachAlie //メール/送信 //メール/送信 //メール/送信</pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S上に出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = '担当者別受注一覧報告'; = '担当者C D=' + TANTOCD + ' + 'の受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file; xs = 'OrderData.xlsx';	7-3 7-4 7-5
<pre>//ファイル/保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + ' WHERE + ' ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.subject vvMail.subject vvMail.subject vvMail.attachAlia //メール透信 if not vvMail_ser vvMail.ser </pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *SELC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xIsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = '担当者別受注一覧報告'; = '担当者別受注一覧報告'; = '担当者CD=' + TANTOCD + ' + 'O受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file; As = 'OrderData.xIsx'; 	7-3 7-4 7-5
<pre>//ファイル/保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + ' WHERE + ' ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut_execSqlToSS //メール/内容作成 vvMail.from vvMail.to vvMail.subject vvMail.body vvMail.attachAlia //メール/送信 if not vvMail_ser vvOut_toJsonPai else:</pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_EIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = '担当者別受注一覧報告'; = '担当者C D=' + TANTOCD + ' ' + 'の受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file; xs = 'OrderData.xlsx'; nd(vvMail); ir('success;false.msg;送信エラー');	7-3 7-4 7-5
<pre>//ファイル/保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SQL抽出条件 SQLSTR = 'SELECT + ' WHERE + ' ORDER //SQL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.execSqlToSS //メール内容作成 vvMail.from vvMail.to vvMail.subject vvMail.subject vvMail.attachaent vvMail.attachaent vvMail.attachAlig //メール述信 if not vvMail_ser vvOut_toJsonPail else: vvOut_toJsonPail else:</pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *SEIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = '祖当者別受注一覧報告'; = '祖当者別受注一覧報告'; = '祖当者CD=' + TANTOCD + ' ' + 'の受注一覧を報告したします。'; i = vvOut.file; xs = 'OrderData.xlsx'; hd(vvMail); ir('success:false.msg;送信エラー'); ir('success:true.info;i类信L.ました');	7-3 7-4 7-5
<pre>//ファイル/保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + ' WHERE + ' ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.execSqlToSS //メール内容作成 vvMail.from vvMail.to vvMail.subject vvMail.subject vvMail.attachment vvMail.attachment vvMail.attachment else: vvOut_toJsonPail else: vvOut_toJsonPail endif;</pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_EIC出力 'F': Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SDLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = '祖当者別受注一覧報告'; = '祖当者CD=' + TANTOCD + ' ' + 'の受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file; xs = 'OrderData.xlsx'; nd(vvMail); ir('success:false.msg;送信エラー'); ir('success:true,info;送信しました');	7-3 7-4 7-5
//ファイル/保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + 'WHERE + 'ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.execSqlToSS //メール内容作成 vvMail.from vvMail.from vvMail.subject vvMail.body vvMail.body vvMail.attachAlie //メール浸信 if not vvMail_ser vvOut_toJsonPai else: vvOut_toJsonPai endif:	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_LIC出力 'F'; Atrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info®migaro.co.jp'; = MAILTO; = '担当者別受注一覧報告'; = '担当者C D=' + TANTOCD + 'Cbr>' + 'の受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file; xs = 'OrderData.xlsx'; nd(vvMail); ir('success:fmlse.msg;送信エラー'); ir('success:true,info;送信しました');	7-3 7-4 7-5
<pre>//ファイル保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + ' WHERE + ' ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.execSqlToSS //メール内容作成 vvMail.from vvMail.subject vvMail.subject vvMail.attachAlia //メール透信 if not vvMail_ser vvOut_toJsonPail endif: //出力ファイルを </pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_EIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = 'IU当者別受注一覧報告'; = 'IU当者別受注一覧報告'; = 'UUH者別受注一覧報告'; = 'UUH者別受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file; xs = 'OrderData.xlsx'; nd(vvMail); ir('success:false.msg;)送信エラー'); ir('success:true,info;送信しました'); #WR	7-3 7-4 7-5
<pre>//ファイル保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + ' WHERE + ' ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.execSqlToSS //メール内容作成 vvMail.subject vvMail.subject vvMail.subject vvMail.attachAlia //メール送信 if not vvMail.ser vvOut_toJsonPai else; vvOut_toJsonPai endif; //出力ファイルを vvIfs_deleteFile(//コーレ // //出力ファイルを vvIfs_deleteFile(// //出力ファイルを // //と // // // // // // // // // // //</pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_EIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = 'IE当者別受注一覧報告'; = 'IE当者別受注一覧報告'; = 'IE当者C D=' + TANTOCD + ' ' + 'の受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file; xs = 'OrderData.xlsx'; nd(vvMail); ir('success:false.msg:送信エラー'); ir('success:true,info:送信しました'); WDR (vvOut.file);	7-3 7-4 7-5 7-6
<pre>//ファイル保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + ' WHERE + ' ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut.execSqlToSS //メール内容作成 vvMail.from vvMail.subject vvMail.subject vvMail.attachment vvMail.attachment vvMail.attachment else: vvOut_toJsonPail else: vvOut_toJsonPail endif: //出力ファイルを影 vvIfs_deleteFile(/end-free //</pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = ''' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_LIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xlsx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = 'IU当者別受注一覧報告'; = 'IU当者C D=' + TANTOCD + 'Cbr>' + 'の受注一覧を報告したします。'; (= vvOut.file; As = 'OrderData.xlsx'; nd(vvMail); ir('success:false.msg:送信エラー'); ir('success:true,info:送信しました'); #WR% (vvOut.file);	7-3 7-4 7-5 7-6
<pre>//ファイル保存先見 TMPPATH = vvUtil) //SOL抽出条件 SOLSTR = 'SELECT + ' WHERE + ' ORDER //SOL抽出結果をIF vvOut.download = vvOut.file = vvOut.file = vvOut_execSqlToSS //メール内容作成 vvMail.from vvMail.from vvMail.subject vvMail.subject vvMail.attachAlie //メール送信 if not vvMail_ser vvOut_toJsonPai else: vvOut_toJsonPai endif: //出力ファイルを許 vvIfs_deleteFile(/end-free e </pre>	取得 lty_setValenceSetting('TEMP_PATH'); * FROM F_JUCHU_H' H_TANTO_CD = '' + TANTOCD + '''' BY H_JUCHU_NO'; *S_EIC出力 'F'; Xtrim(TMPPATH) + SID + '.xisx'; S(vvOut:SOLSTR); = 'info@migaro.co.jp'; = MAILTO; = '14当者別受注一覧報告'; = '14当者別受注一覧報告'; = '14当者別受注一覧報告'; = '0受注一覧を報告したします。'; t = vvOut.file; xs = 'OrderData.xlsx'; nd(vvMail); ir('success:false.msg;送信エラー'); ir('success:true,info;送信しました'); INDR (vvOut.file);	7-3 7-4 7-5 7-6